

**国東市第8期介護保険事業計画等策定に向けた
民生委員・児童委員アンケート調査
【結果報告書】**

**令和2年8月
国東市**

目次

I. 調査概要	2
II. 民生委員・児童委員アンケート調査《集計結果》	3
1. 民生委員・児童委員の活動について.....	3
2. 認知症について.....	16
3. 成年後見制度について.....	22
4. 民生委員・児童委員の活動を通じての意見や要望、課題.....	30

I. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に資するために実施するものであり、高齢者支援を担う地域福祉団体である民生委員・児童委員を対象に、地域での活動状況及び認知症、成年後見制度についての理解や地域実態、活動についての意見や要望、課題等を把握し、これからの施策の展開及び充実を図ることを目的としている。

(2) 調査対象者

国東市内の民生委員・児童委員 119名

(3) 調査方法と調査期間

調査方法：各地区定例会にて調査の趣旨説明を行い配布、郵送にて回収

調査期間：令和元年11月7日～令和元年11月30日

(4) 回収結果

回収委員数	回収率
96	80.67%

(5) 報告書を見る際の注意点

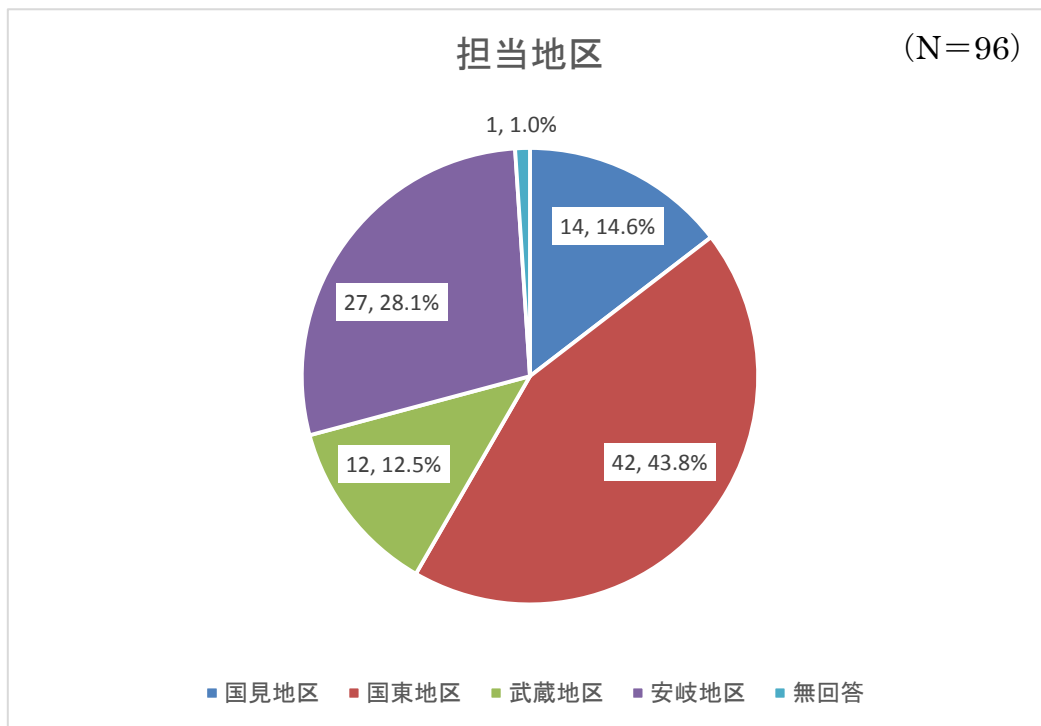
○調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。

○図表中の「N」とは、その設問の回答数を表す。

1. 民生委員・児童委員の活動について

問1. あなたの担当地区を教えてください。

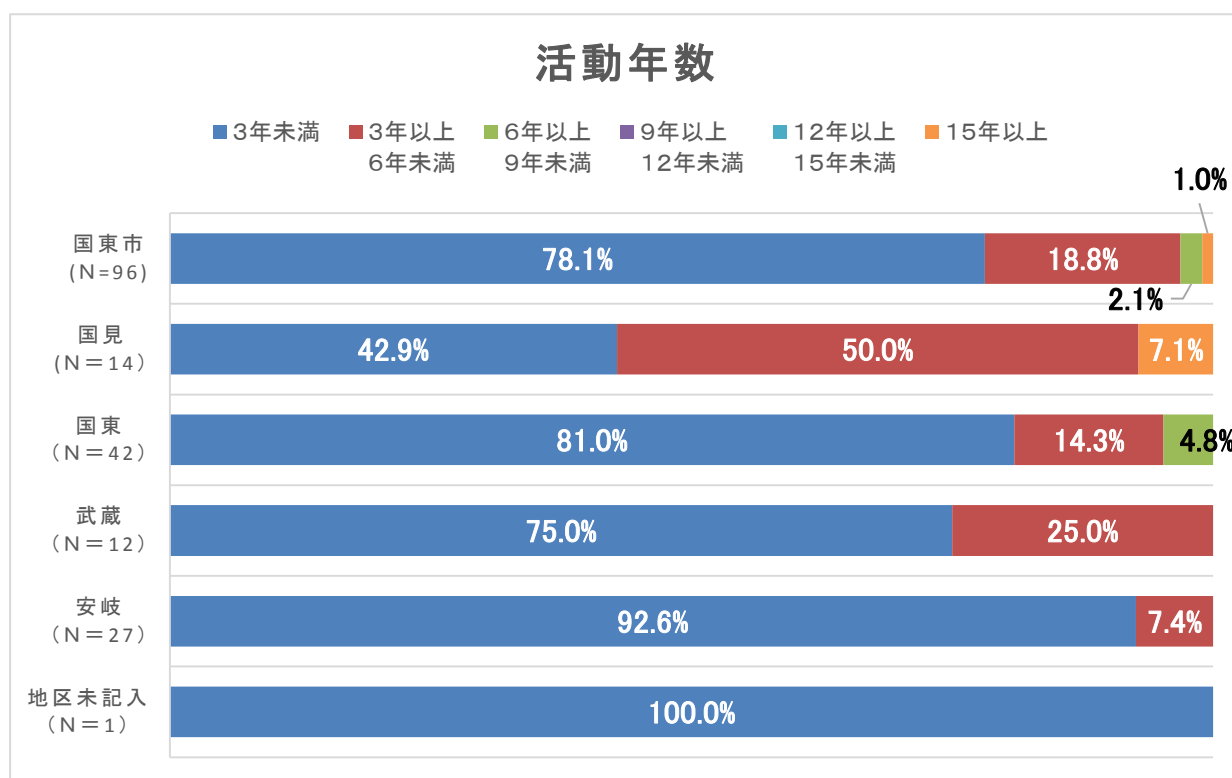
担当地区の内訳としては、国東地区が最も多く、次いで安岐地区、国見地区、武蔵地区となっている。



問2. 民生委員・児童委員としての活動年数を教えてください。(〇は1つ)

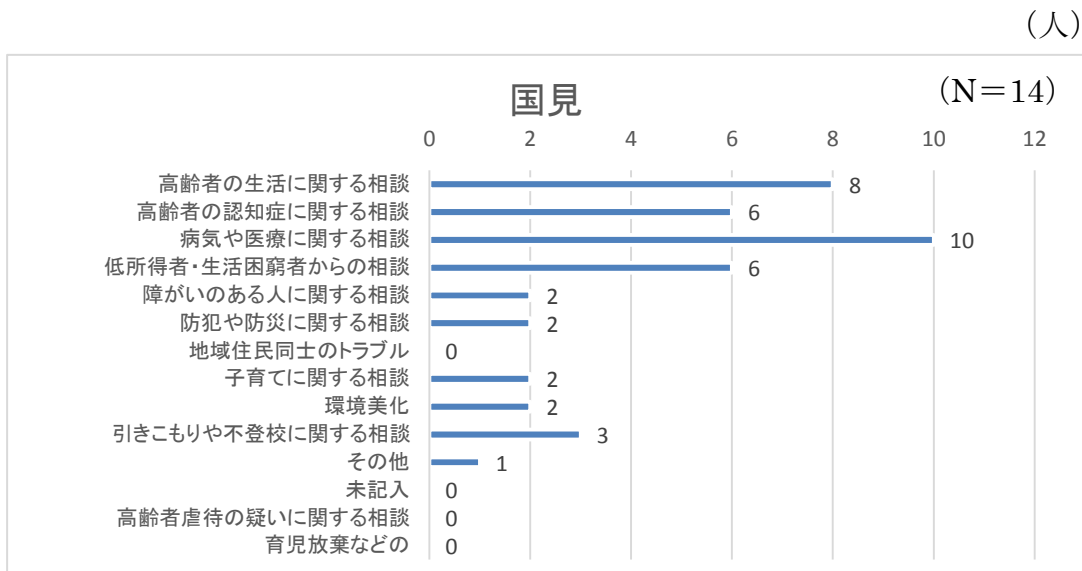
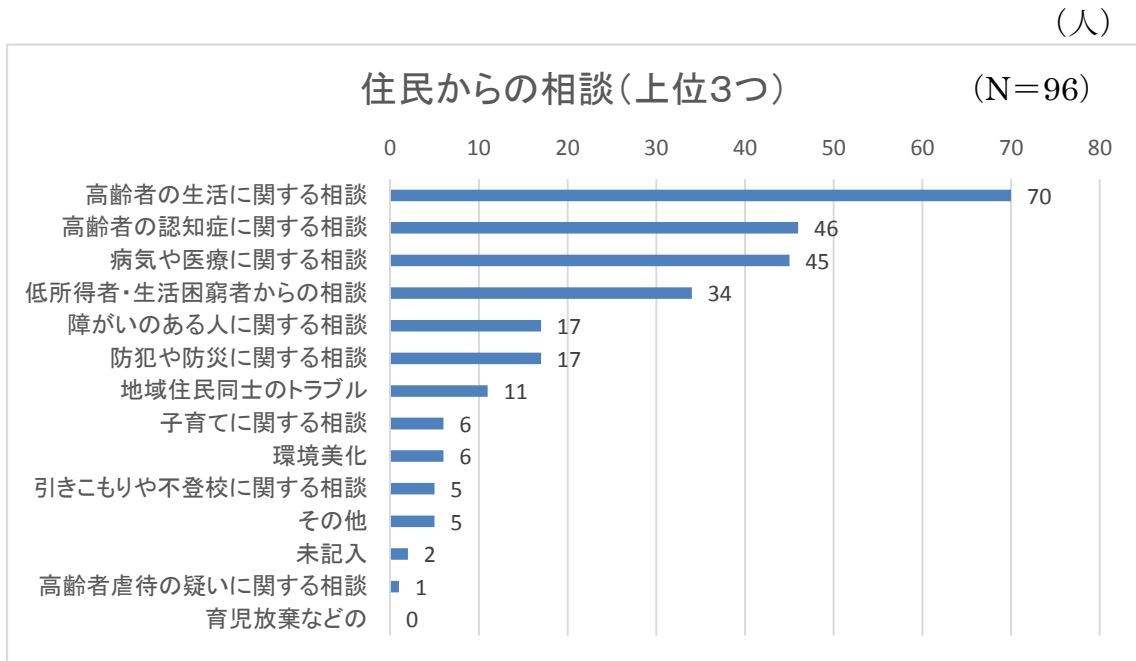
民生委員・児童委員の活動年数は、「3年未満」が78.1%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が18.8%、「6年未満9年以上」が2.1%、「15年以上」1.0%となっており、就任1期目の人が多い。

地区ごとで見ると、国見地区は「3年以上6年未満」が50%となっているが、国東地区では81%、武蔵地区では75%、安岐地区では92.6%を「3年未満」が占めている。

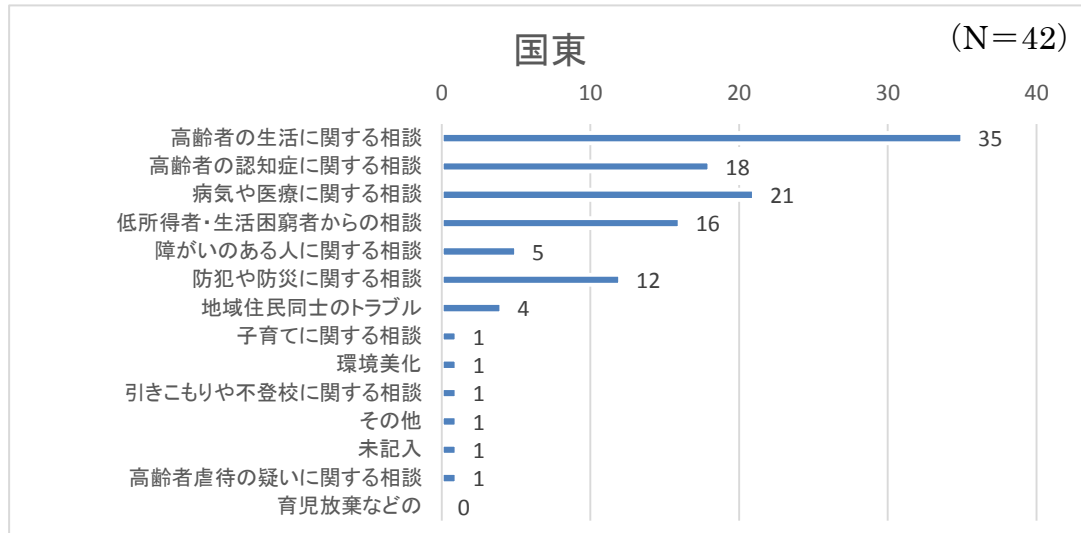


問3. 住民からの相談で、特に多かったもの上位3つに○をつけてください。

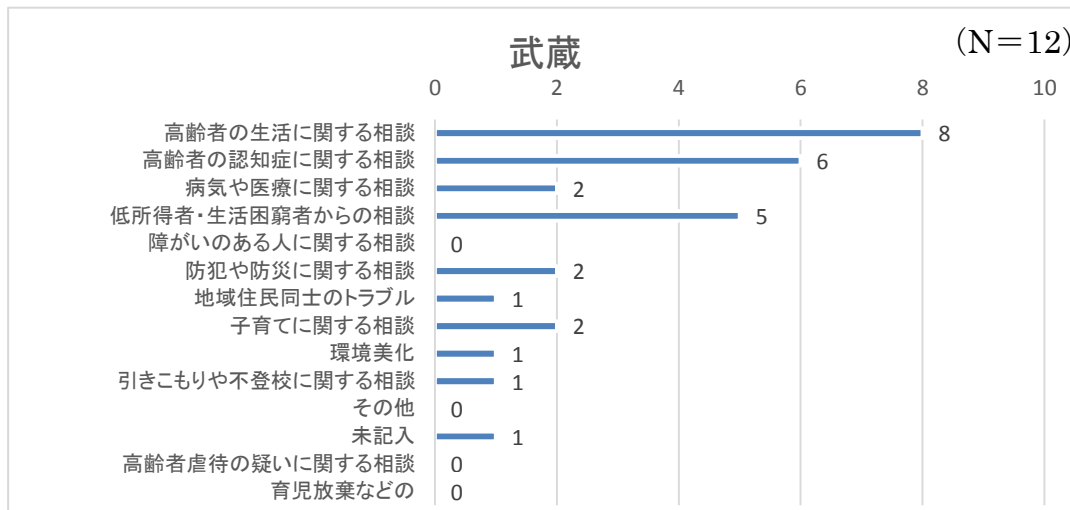
民生委員・児童委員が担当地区で受けた相談は、「高齢者の生活に関する相談」が最も多く、次いで「高齢者の認知症に関する相談」、「病気や医療に関する相談」、「低所得者・生活困窮者からの相談」の順となっている。各地区別でも、若干順位は違うが、これらの項目が相談の上位を占めている。



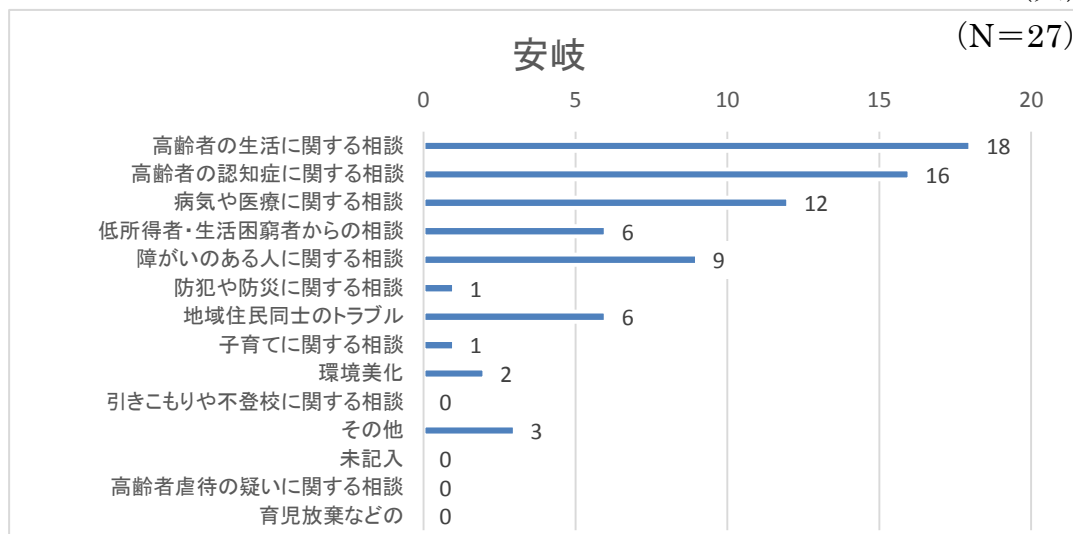
(人)



(人)



(人)

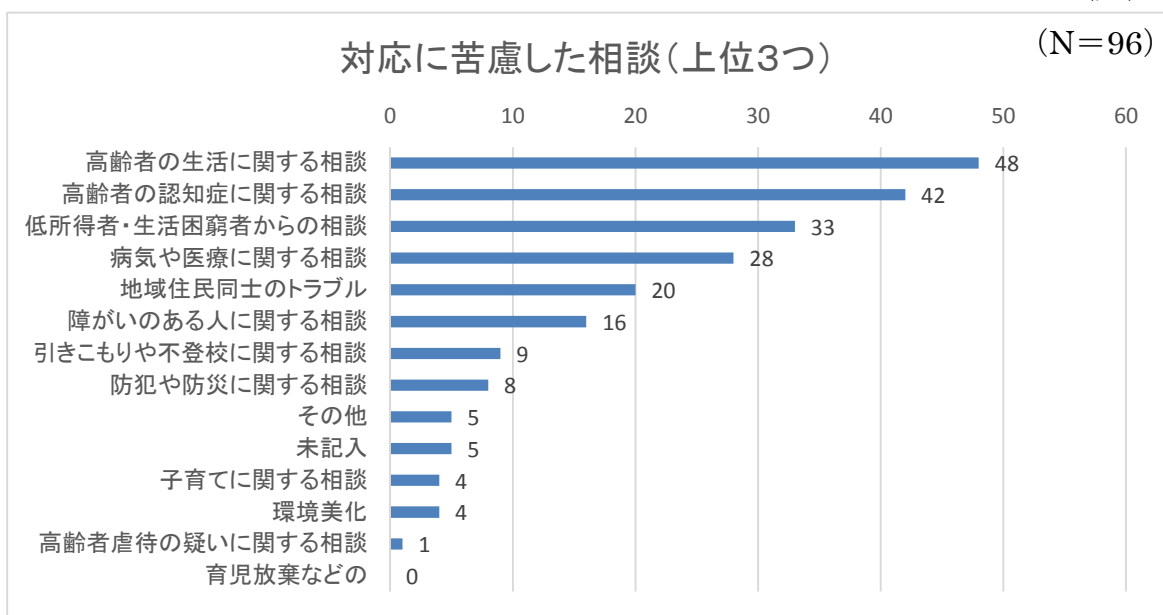


問4. 住民からの相談で、特に対応に苦慮したものの上位3つに○をつけてください。

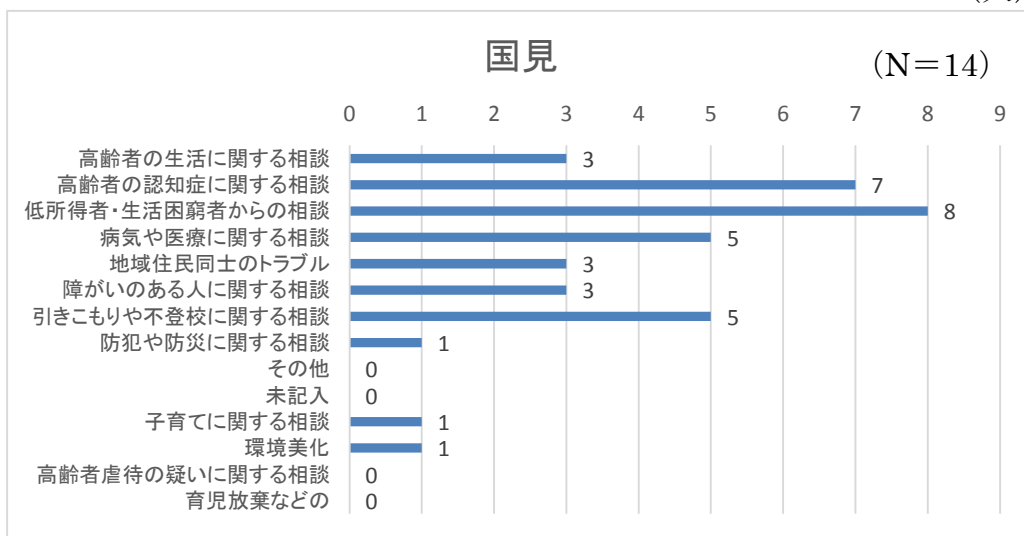
住民からの相談で、特に対応に苦慮したものとして、「高齢者の生活に関する相談」が最も多く、次いで「高齢者の認知症に関する相談」、「低所得者・生活困窮者からの相談」の順となっている。

各地区別では、国見は「低所得者・生活困窮者からの相談」、国東、武蔵は「高齢者の生活に関する相談」、安岐は「高齢者の認知症に関する相談」が最も多くなっている。

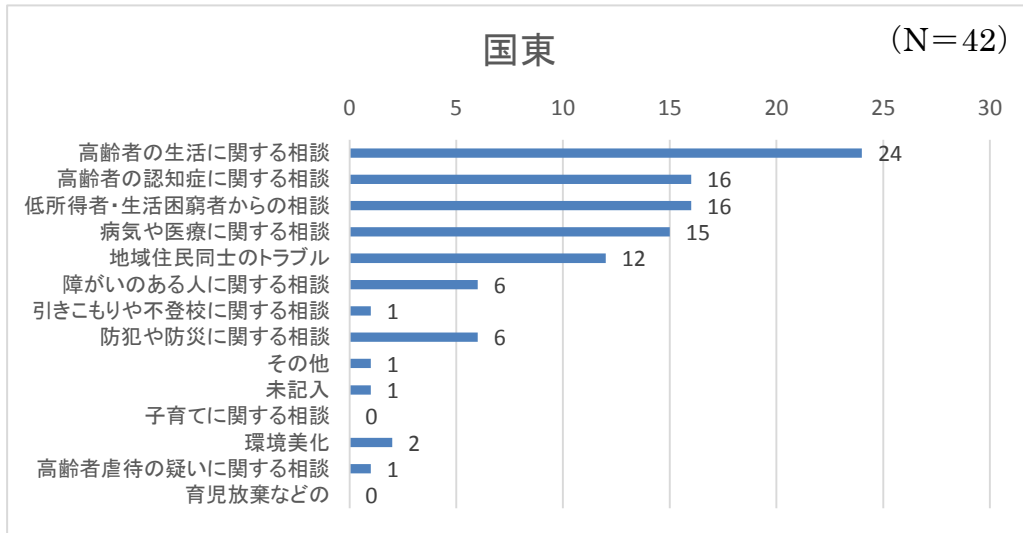
(人)



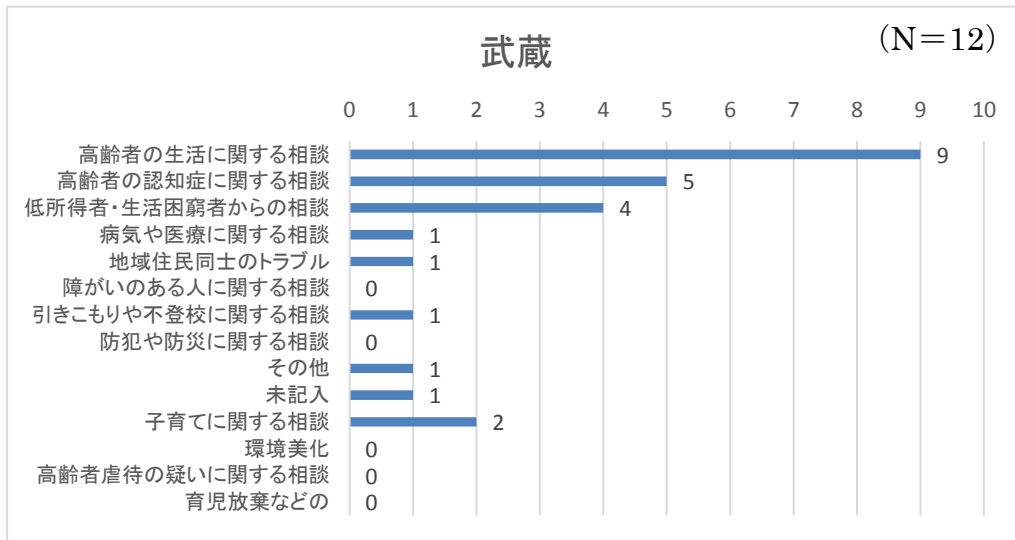
(人)



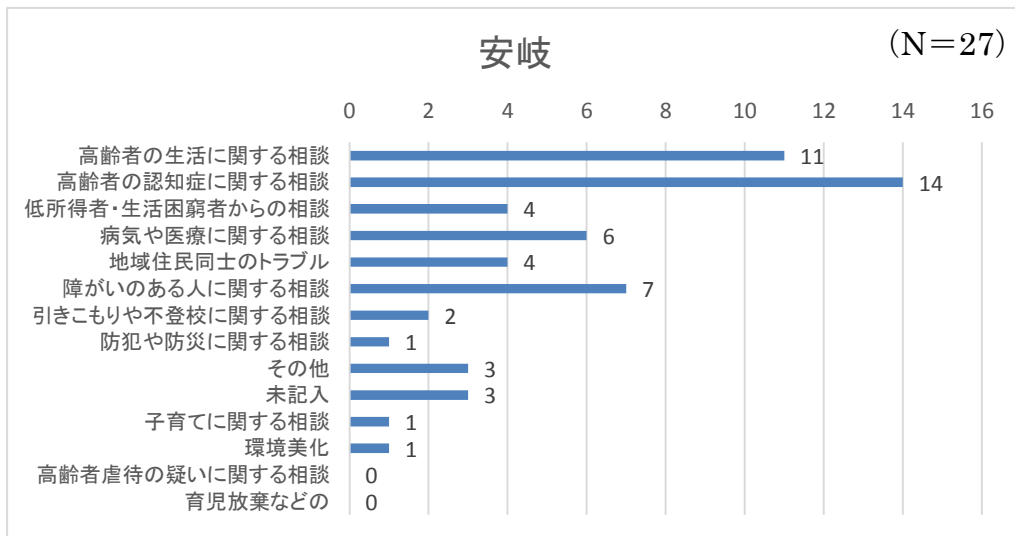
(人)



(人)



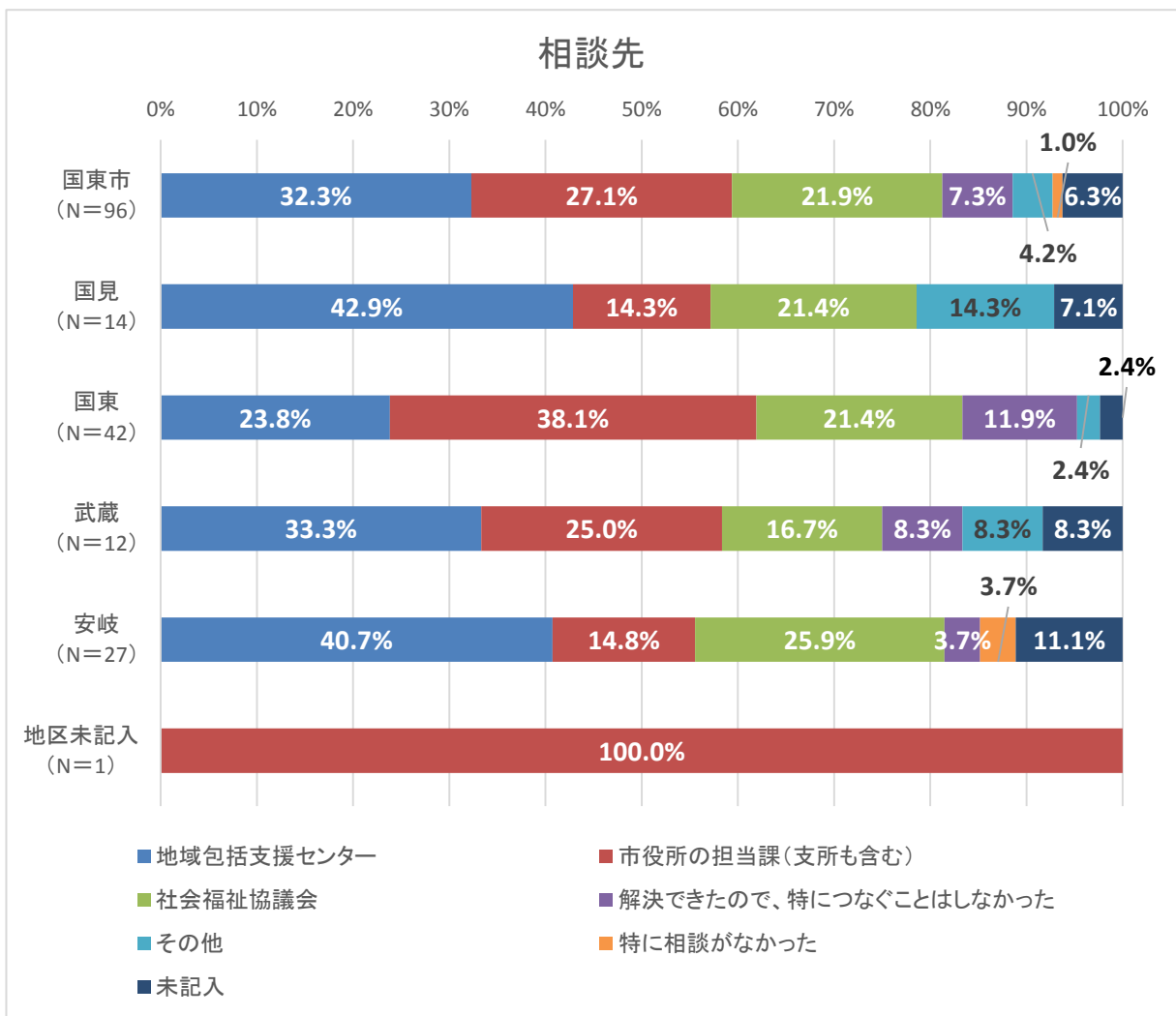
(人)



問5. 住民から受けた相談や困りごとを発見した際、解決にあたり最も相談したところはどこですか。(1つのみ)

住民から受けた相談や困りごとを発見した際、解決にあたり最も相談したところとしては、「地域包括支援センター」が最も多く32.3%、次いで「市役所の担当課（支所を含む）」が27.1%、次に「社会福祉協議会」の21.9%となっている。

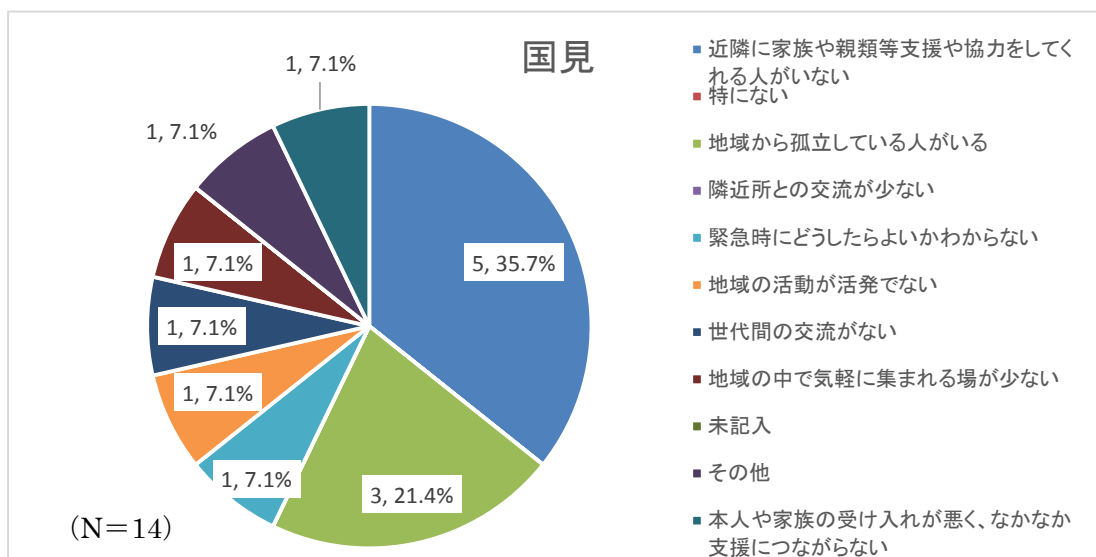
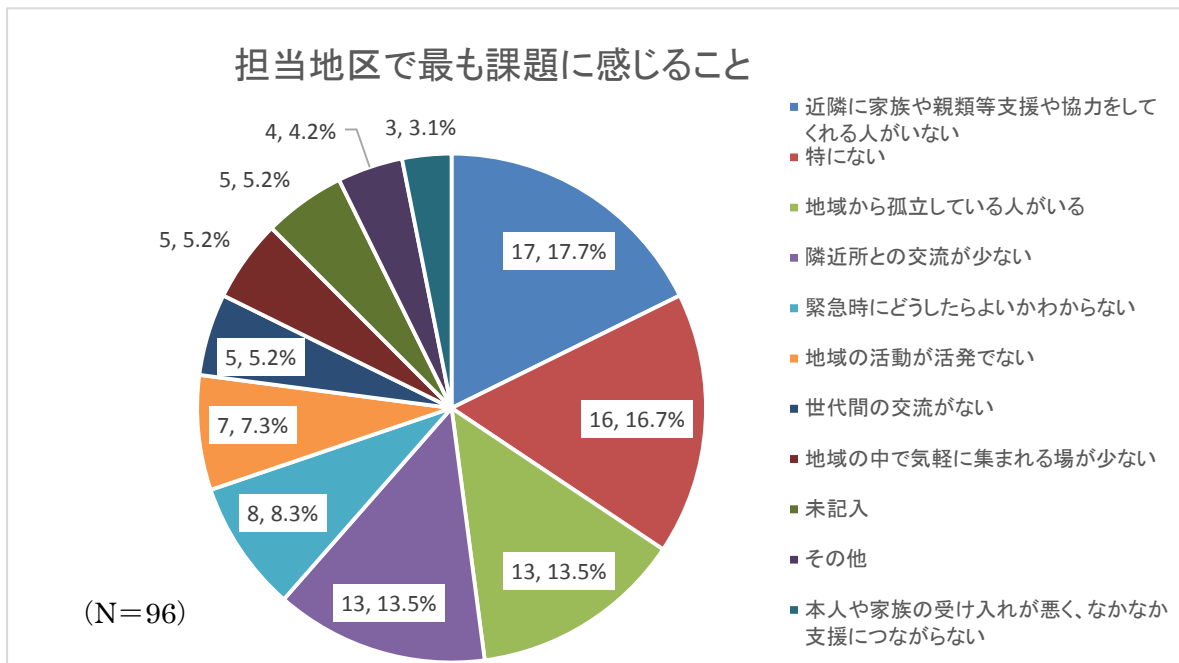
地区ごとで見ると、国東地区では「市役所の担当課」が38.1%と最も多く、その他の地区では、「地域包括支援センター」が国見地区42.9%、武蔵地区33.3%、安岐地区40.7%を最も多くなっている。

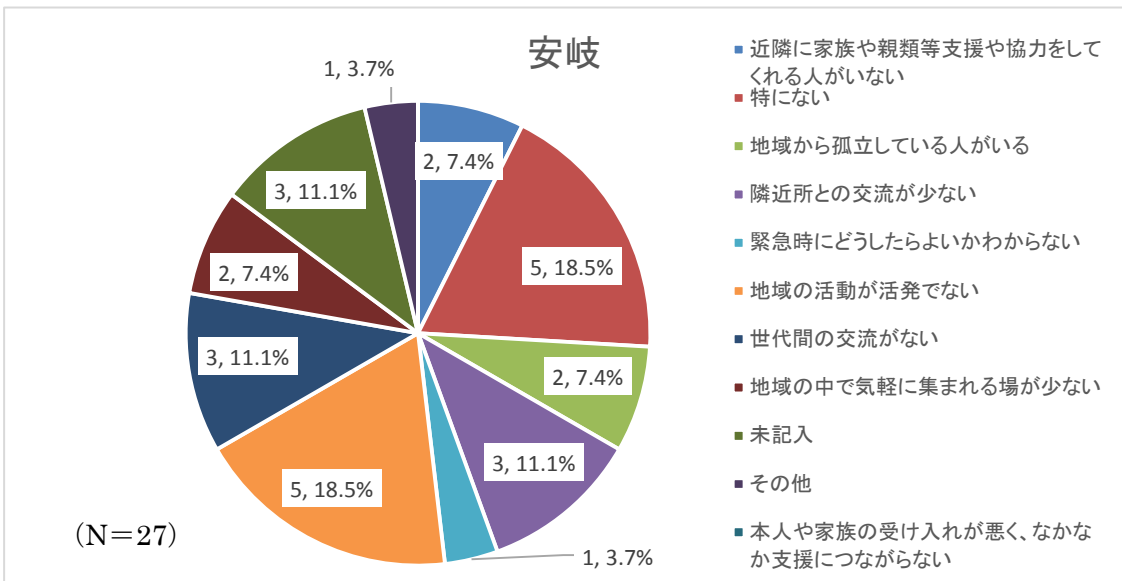
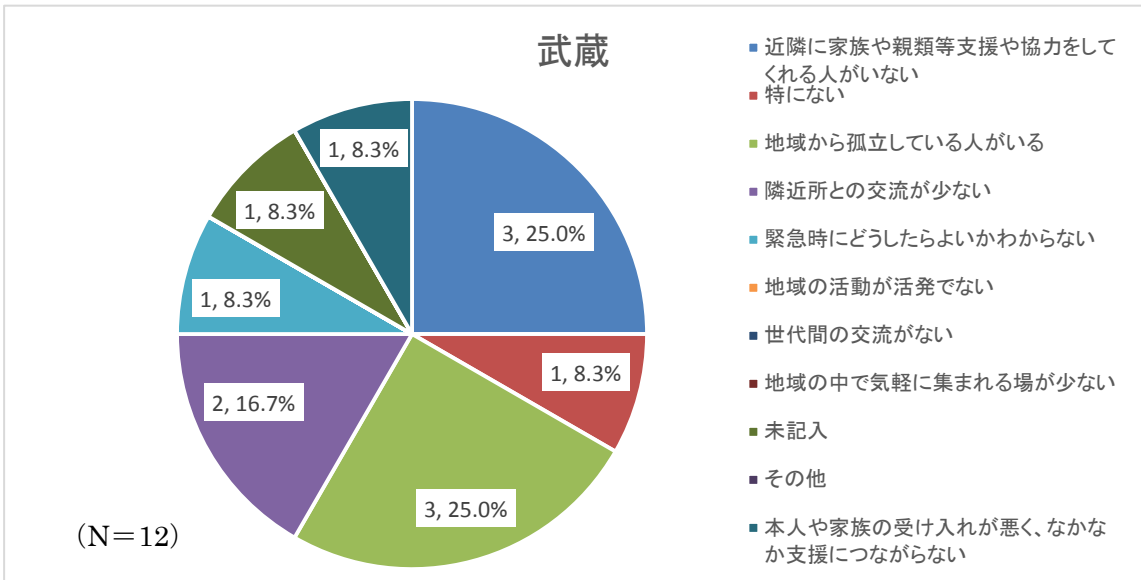
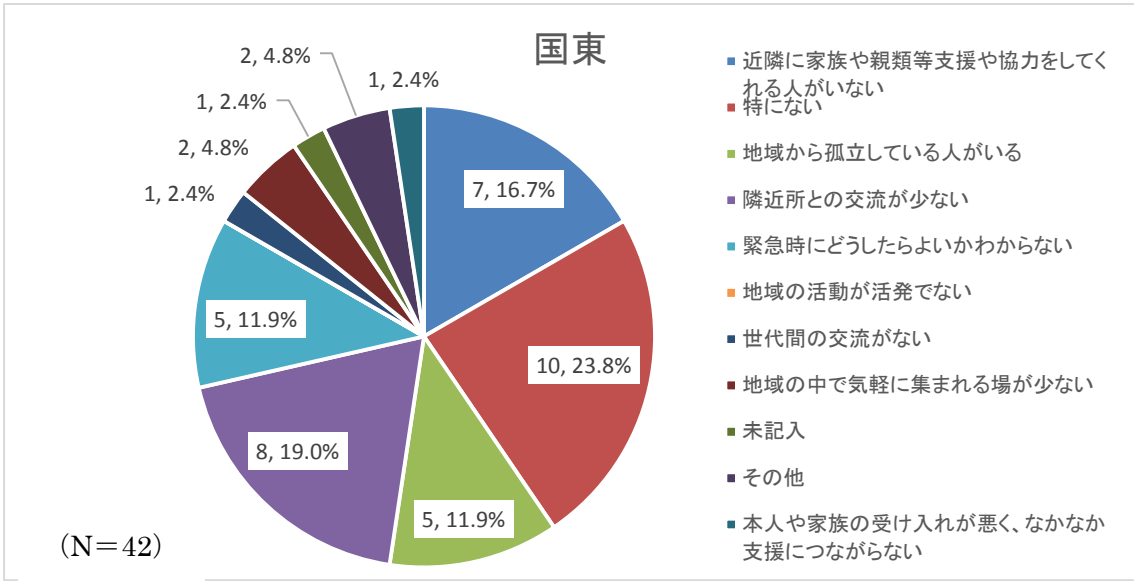


問6. 現在、担当している地区の中で、最も課題と感じることは何ですか。
(1つのみ)

担当している地区の中で、最も課題と感じることとしては、「近隣に家族や親類等支援や協力をしてくれる人がいない」が17.7%と最も多く、次いで「特にない」が16.7%、「地域から孤立している」が13.5%、「隣近所との交流が少ない」が13.5%の順となっている。

地区ごとでも見ると、国見地区では「近隣に家族や親類等支援や協力をしてくれる人がいない」が35.7%、国東地区では「特にない」が23.8%、武蔵地区では「近隣に家族や親類等支援や協力をしてくれる人がいない」、「地域から孤立している」が共に25.0%、安岐地区では「特にない」、「地域の活動が活発でない」が18.5%と最も多くなっている。



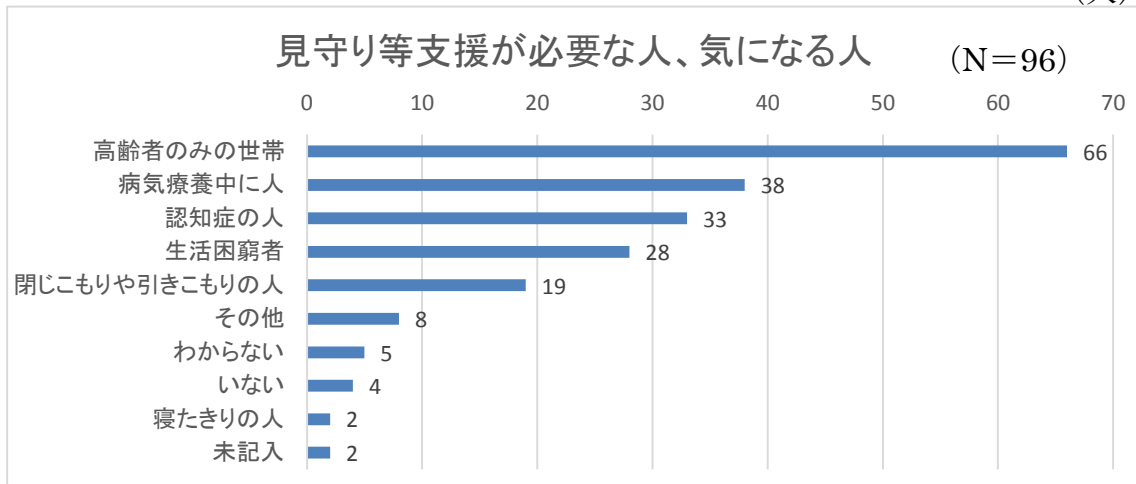


問7. 現在、担当されている地区の中で、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか。（複数回答）

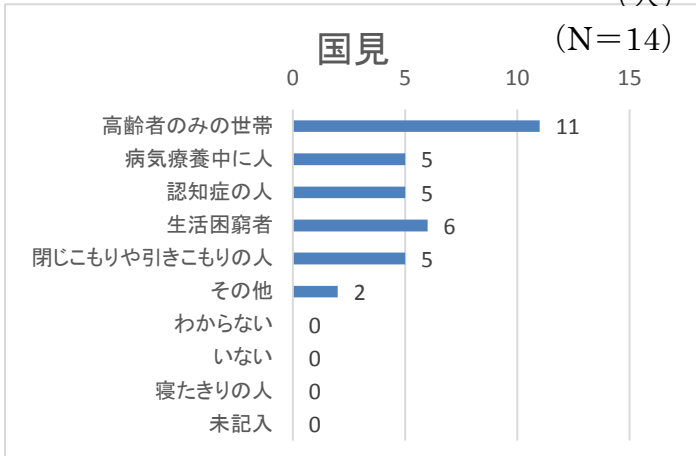
担当している地区で、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人としては、「高齢者のみの世帯」が最も多く、次いで「病気療養中の人」、「認知症の人」「生活困窮者」の順となっている。

各地区毎にみても、順位の違いはあるが同様の項目が上位を占めている。

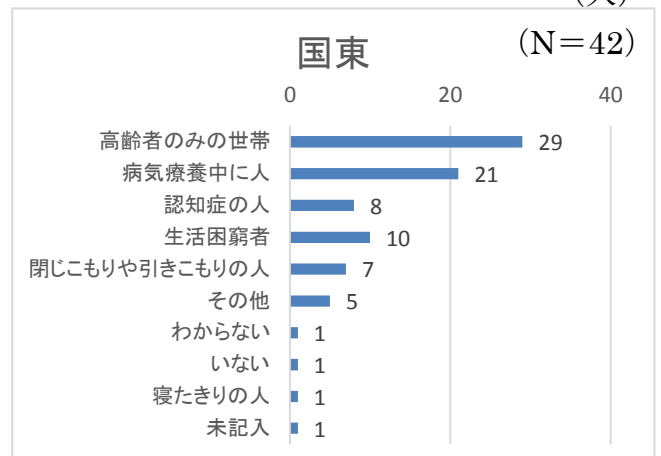
(人)



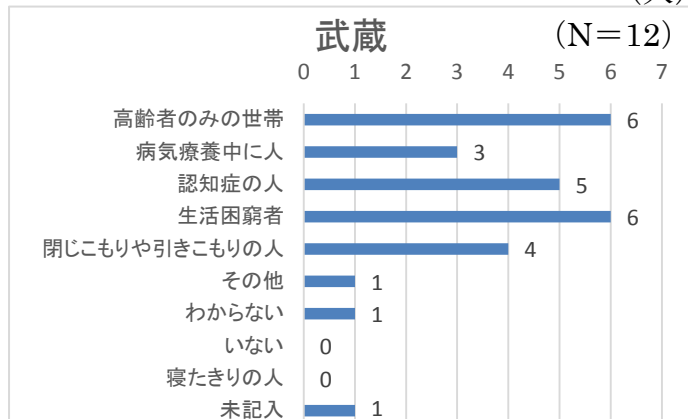
(人)



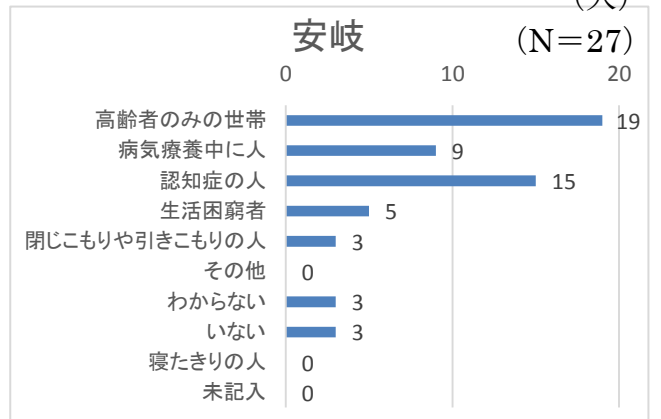
(人)



(人)



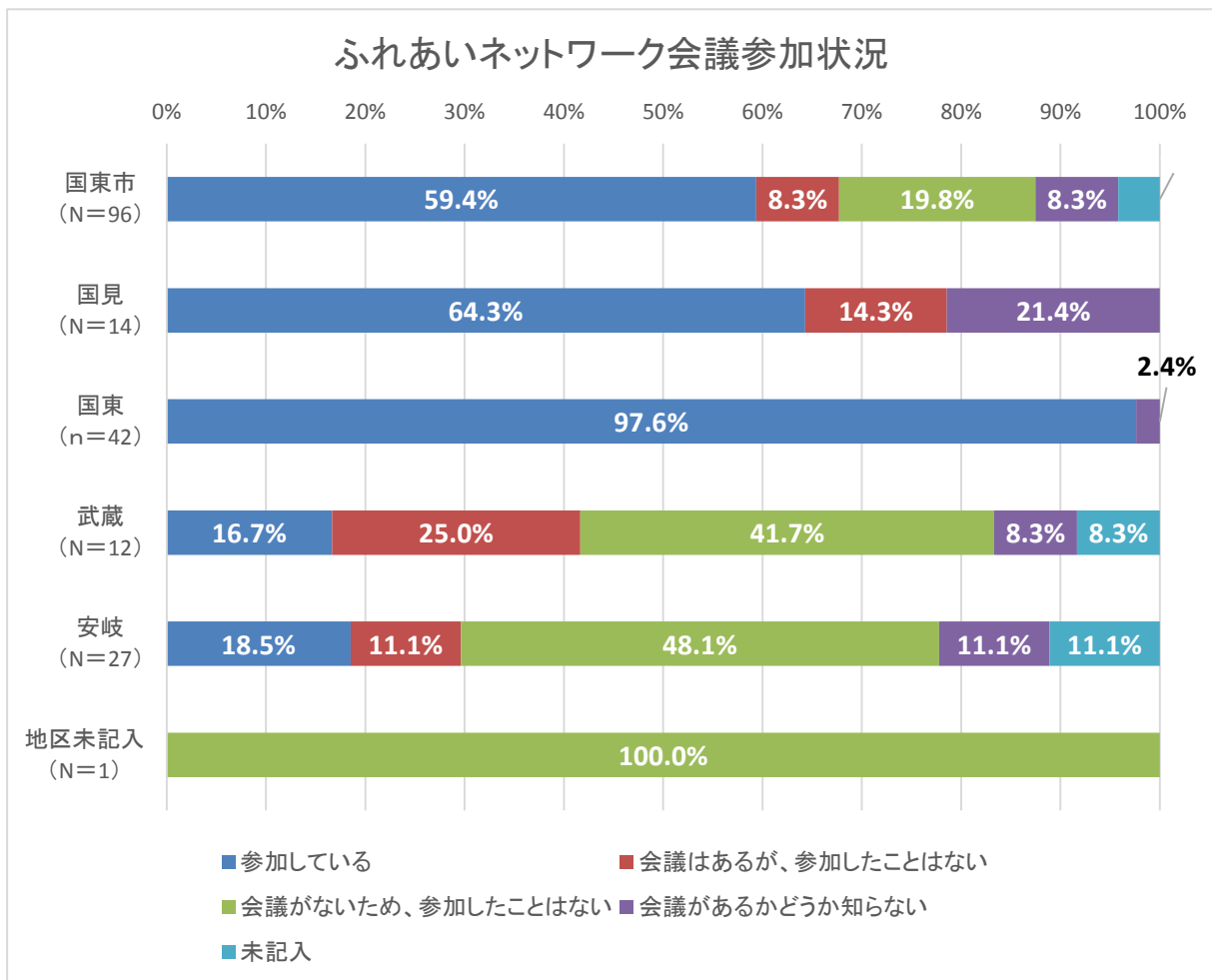
(人)



問8. 問7に該当する人を地域で見守る体制として、「ふれあいネットワーク会議」がありますが、「ふれあいネットワーク会議」に参加したことがありますか。(1つのみ)

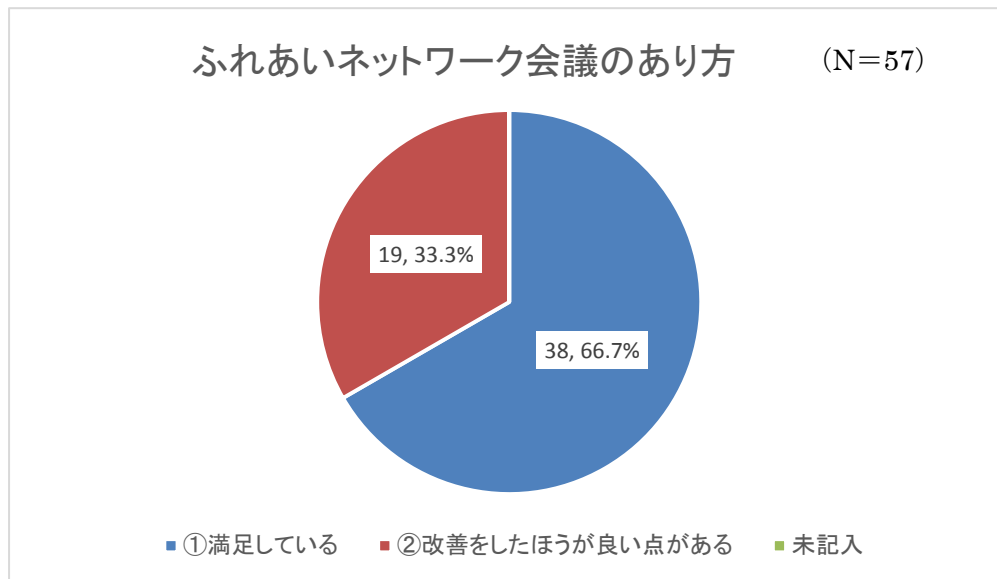
ふれあいネットワークへの参加については、「参加している」が最も多く59.4%、次いで「会議がないため参加したことがない」が19.8%、「会議はあるが参加したことはない」「会議があるかどうか知らない」が8.3%となっている。

地区毎では、「参加している」が国見地区では64.3%、国東地区では97.6%武蔵地区は16.7%、安岐地区は18.5%となっており、地域差が出ている。



問9. 問8で、「1 参加したことがある」と答えた方に伺います。
今の「ふれあいネットワーク会議」のあり方に満足していますか。(1つのみ)

参加したことがあると回答した人のうち、今の「ふれあいネットワーク会議のあり方に満足している」と回答した人は、66.7%、「改善したほうが良い点がある」と回答した人は33.3%となっている。



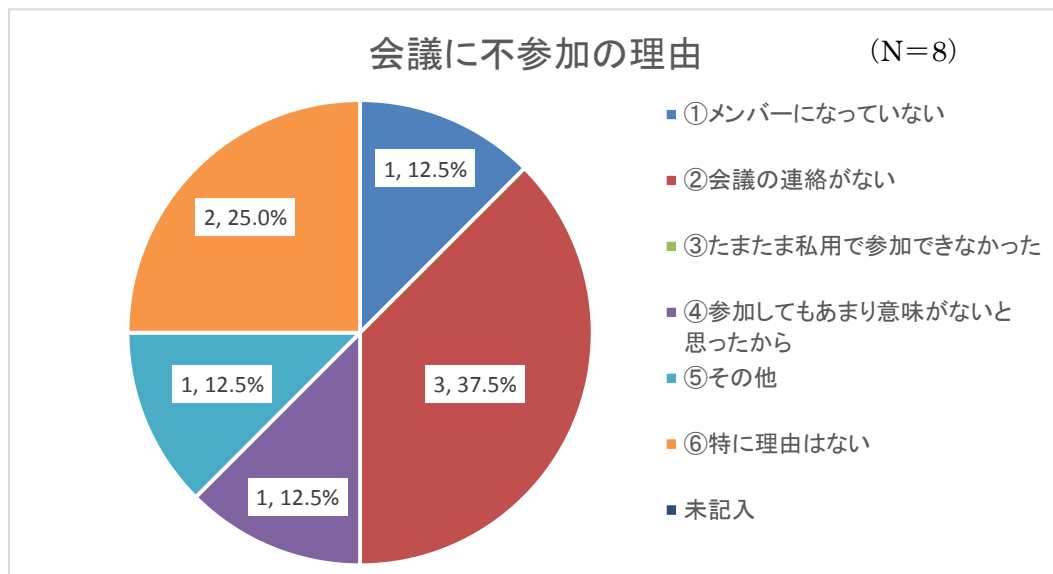
【改善したほうがよい点があると回答した人からの意見】

- ・有事（災害時）の要支援者をあげるだけで、具体的な支援や日常の見守り等の話し合いや共通認識への協議になっていない（5分で終了する）
- ・ネットワーク会議はあるが実際活動ができにくい
- ・具体的行動に結びついていない
- ・情報交換が足りない
- ・地区の班長会議と一緒にあり活動報告をする。どの程度まで話をするべきかどうかわかる時がある（守秘義務を守ってくれるだろうか？）。報告後は先に席を立つ。楽しく話をする事はあまりない。
- ・区の三役に加えて、老人クラブの役員や班長さん方の見守り活動や情報共有についての協力体制がほしい
- ・地区ごとに支援が必要な方の支援計画をしっかりとしておくこと
- ・日時を急に指定されているので、前もって計画及び連絡をして欲しい（急に連絡があると予定の行事があり出席できない時がある。）
- ・民生委員一人の見廻りではなく、回覧文書の配布物の時、班長さんに一件づつ配り声掛けをして欲しいと言ってある

- ・ 具体的な要望から解決までの道筋がない
- ・ 民生委員としての参加ではなく、他の役職での参加だったので民生委員としては参加要請はなかった
- ・ 区長、地区役員へのネットワークの意義

問 10. 問 8 で、「2 会義はあるが、参加したことはない」と答えた方に伺います。
不参加の理由を教えてください。(1 つのみ)

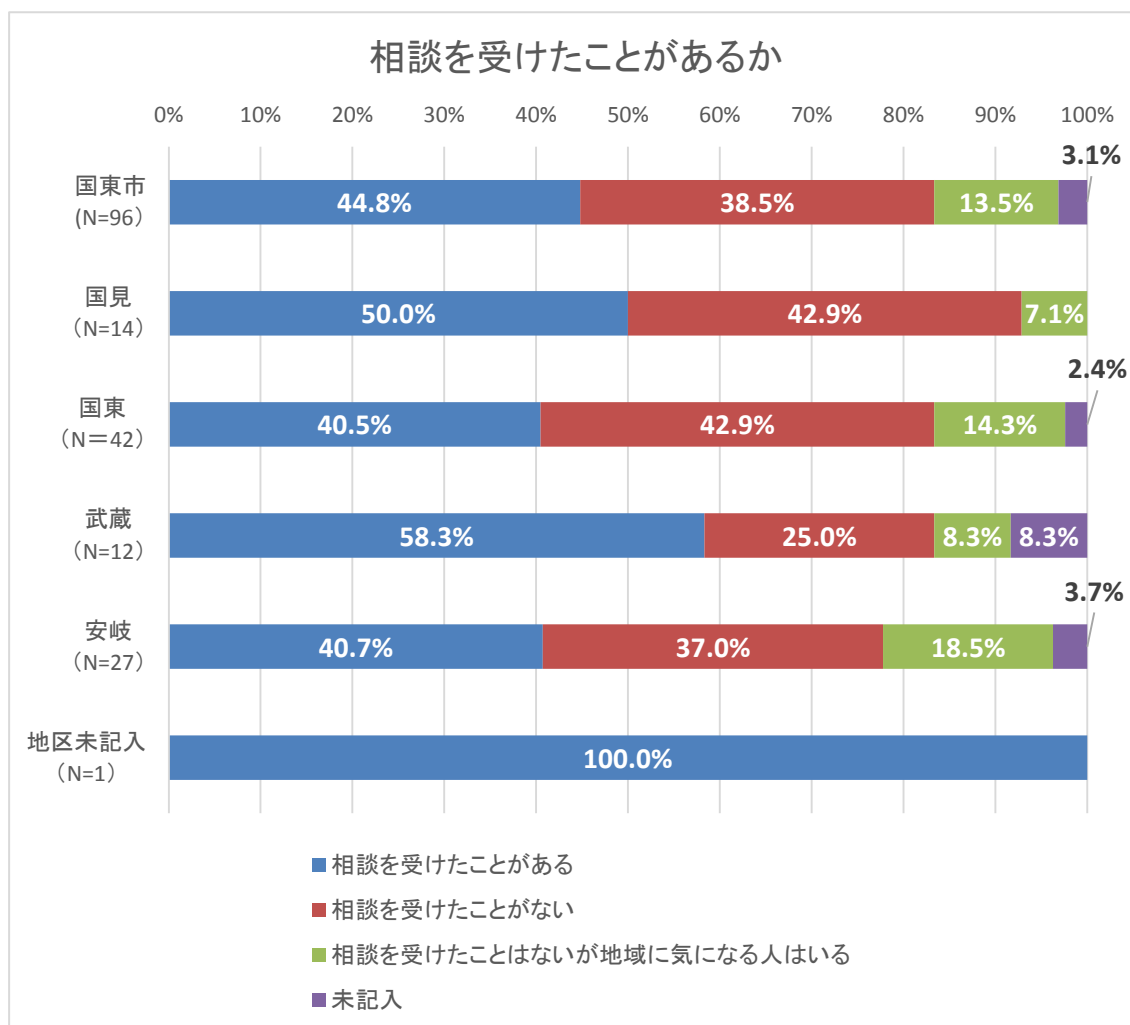
ふれあいネットワーク会議に参加したことがない人の不参加の理由としては「会議の連絡がない」が 37.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が 25.0%、「メンバーになっていない」「参加してもあまり意味がないと思ったから」がそれぞれ 12.5%となっている。「メンバーになっていない」「会議の連絡がない」を合わせると 50%を占めており、不参加の半数の人は「ふれあいネットワーク会議」がいつ開催されているか知らない状況にある。



2. 認知症について

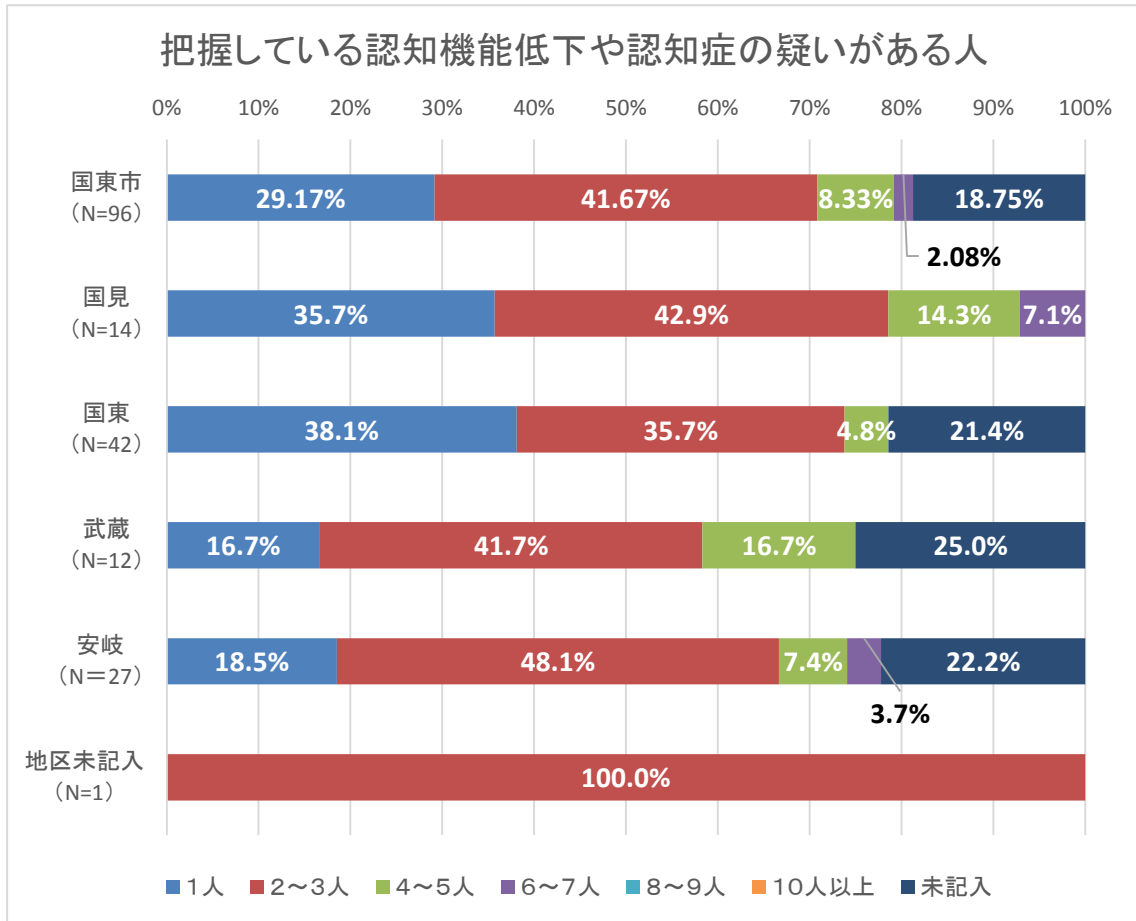
問 11 担当されている地区の中で認知症の人について相談を受けたことがありますか。(1つのみ)

担当している地区の中で認知症の人について相談を受けたことがある人は 43 人で 44.8%、受けたことがない人は 37 人で 38.5%、相談を受けたことはないが地域に気になる人はいる人は 13 人で 13.5%となっている。



問 12 担当されている地区に、あなたが把握されている中で、認知機能の低下や認知症の疑いのある人が、何人程度いますか。(1つのみ)

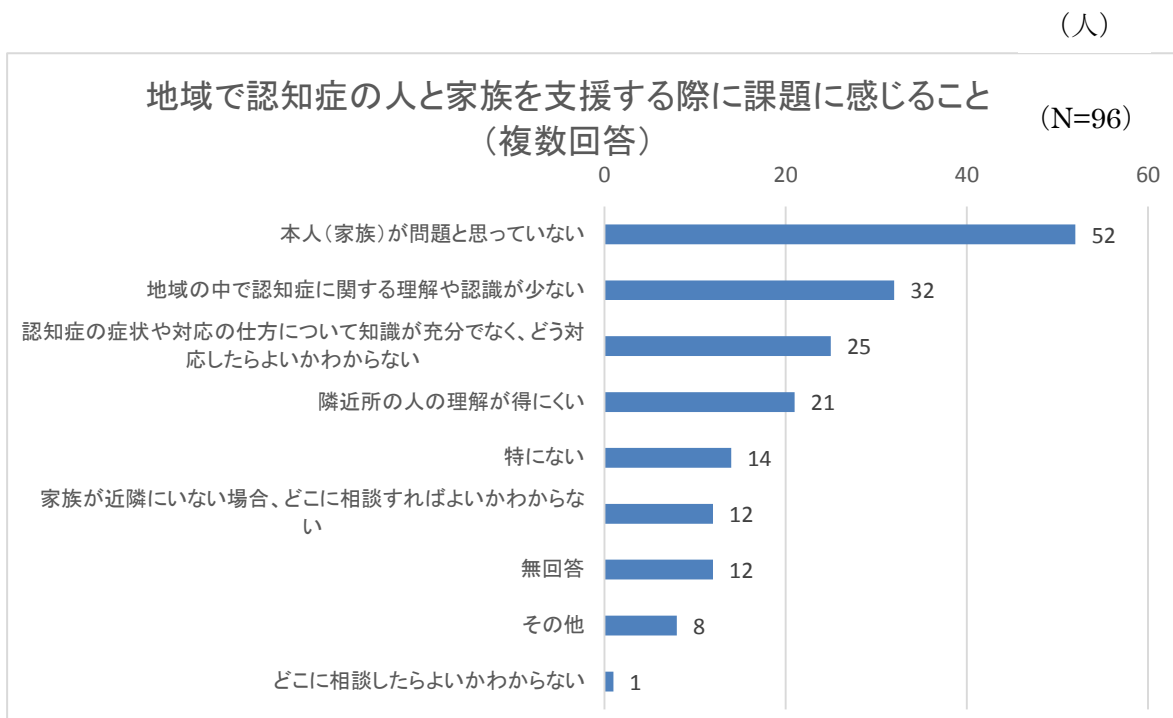
把握している認知機能の低下や認知症の疑いのある人の人数は、「2～3人」が41.7%と最も多く、次いで「1人」が29.2%、「4～5人」が8.3%となっている。



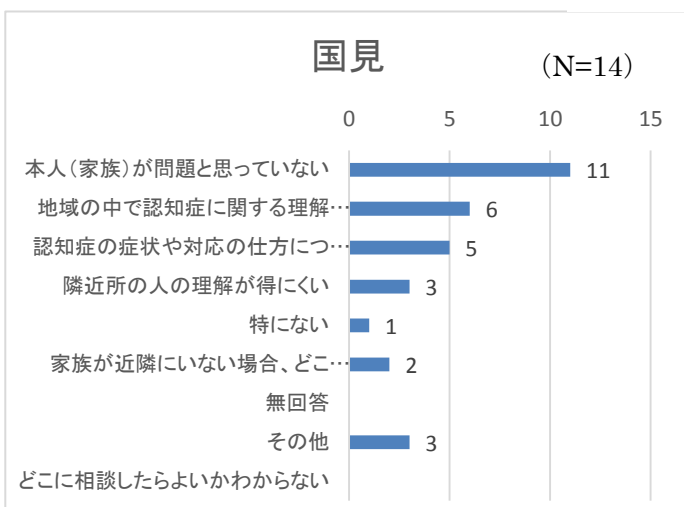
問 13 地域で認知症の人と家族を支援する際に、課題と感ずること上位 3 つに○をつけてください。

地域で認知症の人と家族を支援する際に課題と感ずることとしては、「本人(家族)が問題と思っていない」が最も多く、次いで「地域の中で認知症に関する理解や認識が少ない」、「認知症の症状や対応の仕方についての知識が充分でなく、どう対応したらよいかわからない」の順となっている。

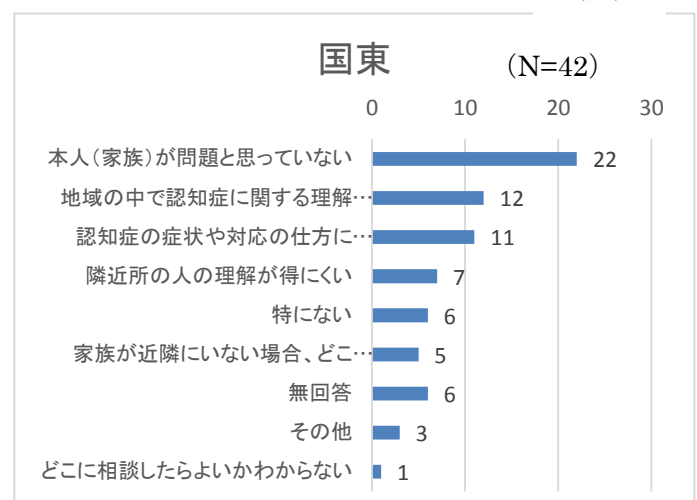
地区ごとに見ても、「本人(家族)が問題と思っていない」が課題として最も多くなっている。



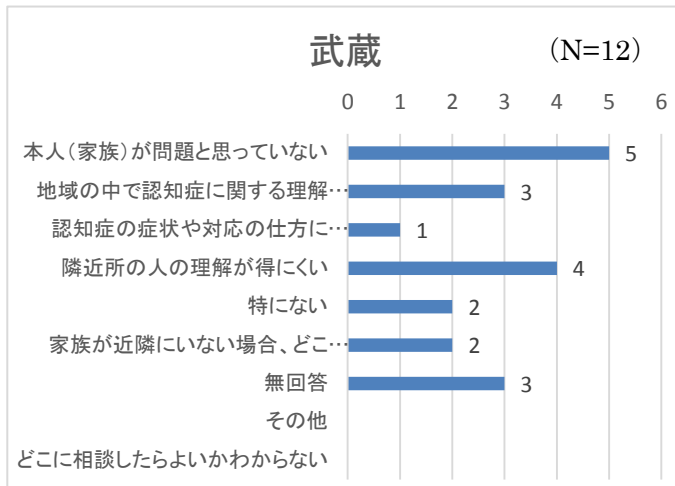
(人)



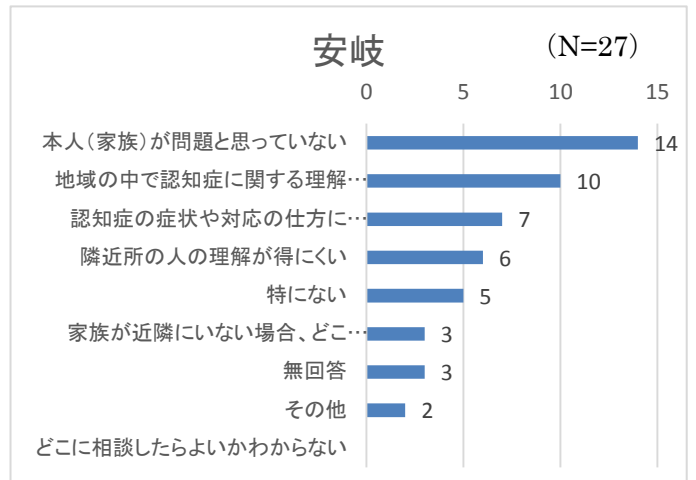
(人)



(人)



(人)



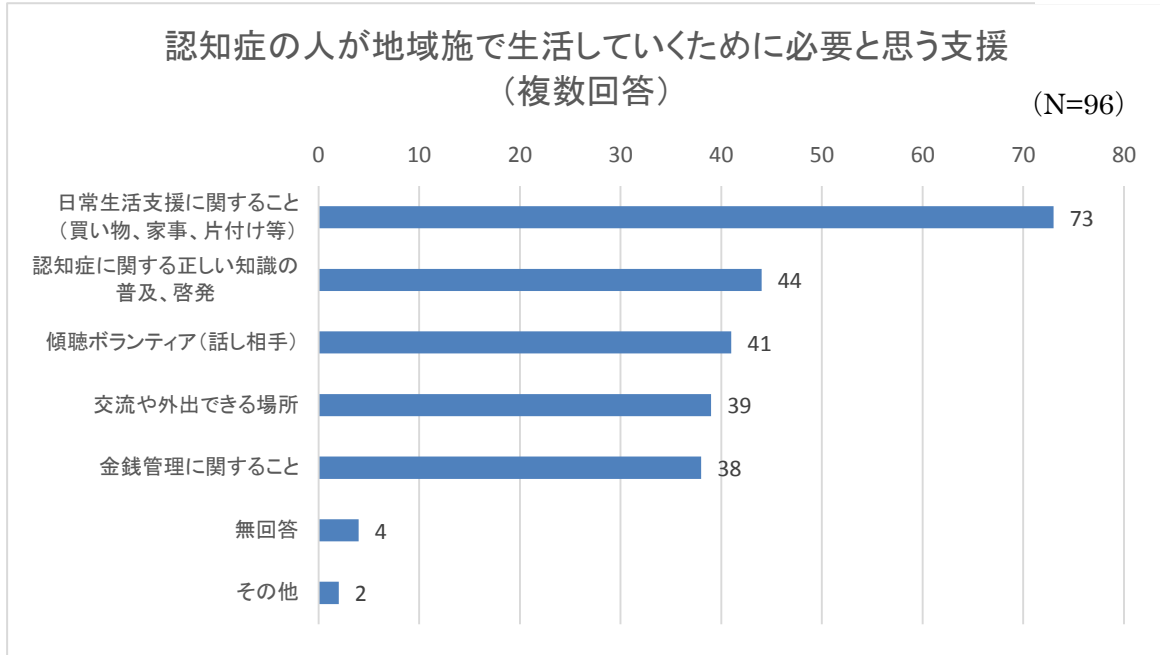
《その他の意見》

- ・ 時間的に余裕がない（私個人の問題）のであまり関われない。行動・活動が時間的に違う
- ・ 家族の認識と対応が遅い
- ・ オレンジのれんへの関心が低く、参加を勧めるが反応がない。認知症を恥と思っている家族は参加を好まないようだ。
- ・ 介護の担当者から注意するように連絡を受けていました。
- ・ 一人暮らしの為、子どもさんが帰っている時に訪問するも、あまり話しをせず認知について話しづらい。
- ・ 以前いたが死亡する
- ・ ひきこもりがち
- ・ 全て包括にお願いしているのですが、見守りくらいしかできませんでした。

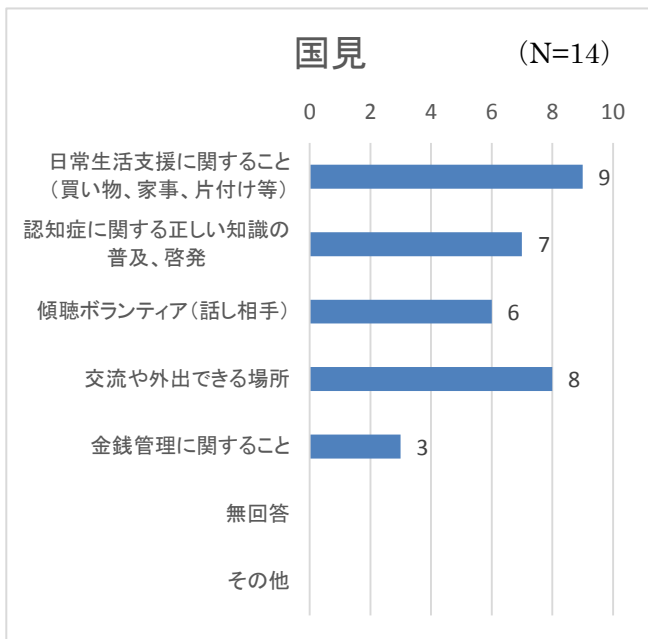
問 14 認知症の人が地域で生活していくにあたり、必要だと思う支援上位3つに○をつけてください。

認知症の人が地域で生活していくにあたり、必要と思う支援としては、「日常生活支援に関すること（買い物、家事、片付け等）」が最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識の普及、啓発」、「傾聴ボランティア（話し相手）」の順となっている。

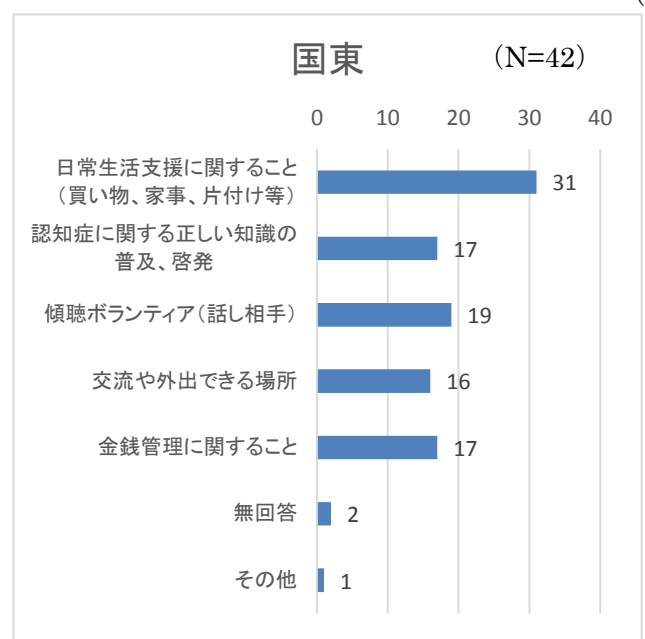
(人)



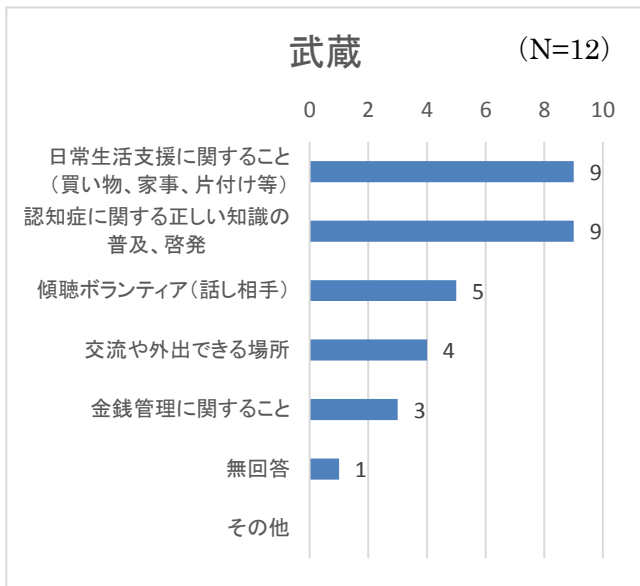
(人)



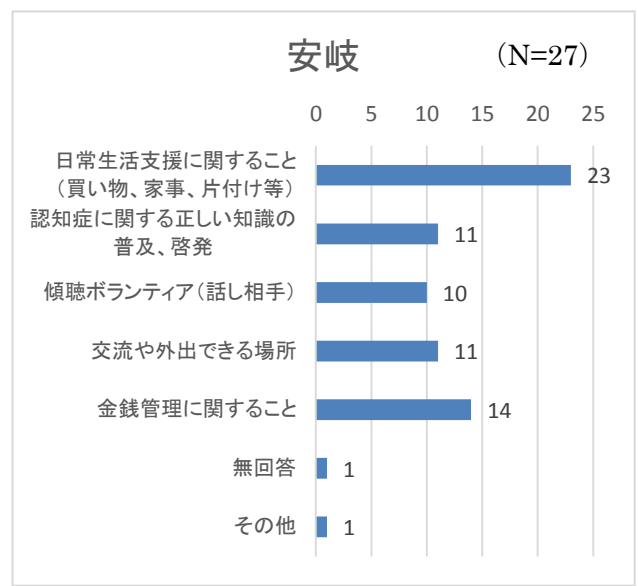
(人)



(人)



(人)



《その他の意見》

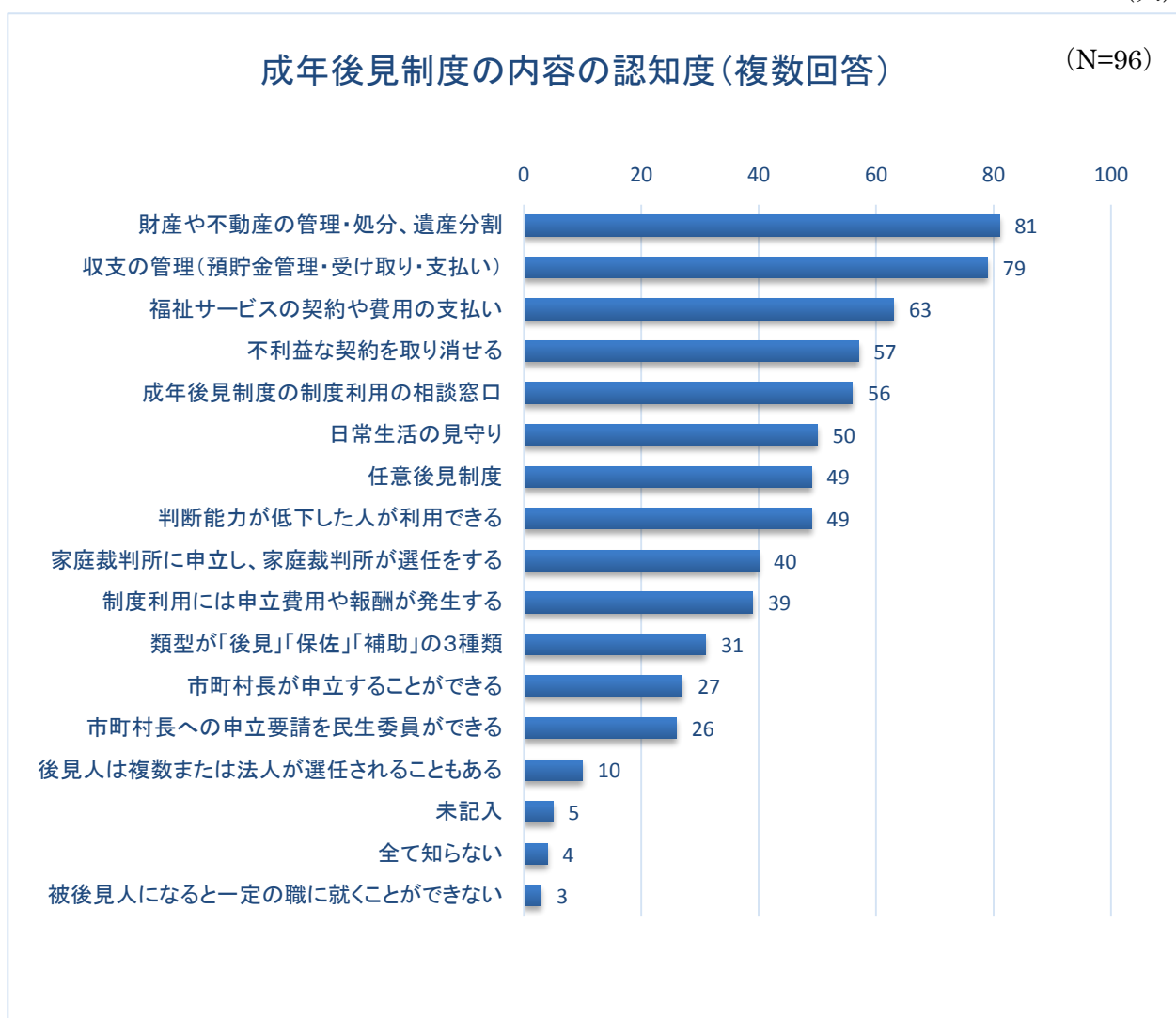
- ・一人暮らしにさせない事
- ・家庭の金銭はわからないが、人のお金を集めたことが覚えていなかったこと

3. 成年後見制度について

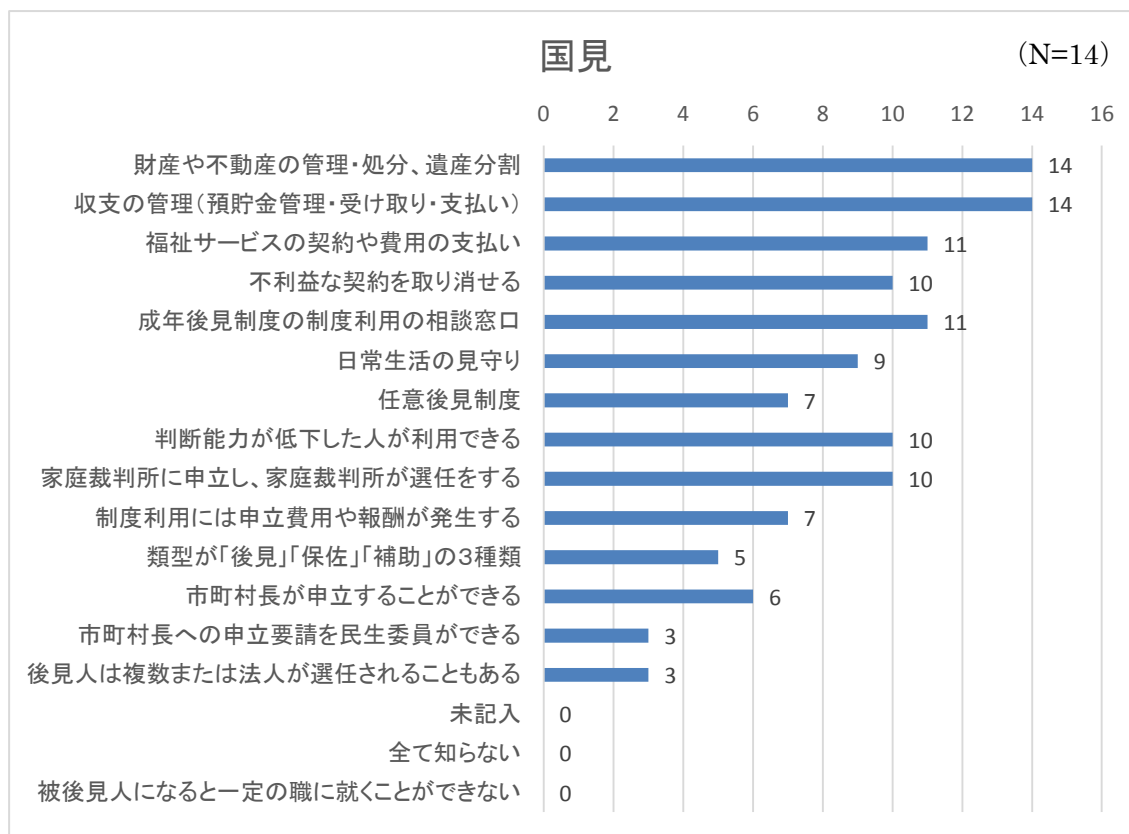
問 15 成年後見制度の主な内容は以下のとおりです。知っていることすべてに○をつけてください。

成年後見制度は、財産の管理、収支の管理、契約や支払い等のお金に関わることで利用する制度との認識が高く、それ以外の内容の認知度は低い。また、民生委員が市町村長に申立要請できることについての認知度は低い。また、制度を利用できる人が、判断能力が低下した人という認知度が低い。

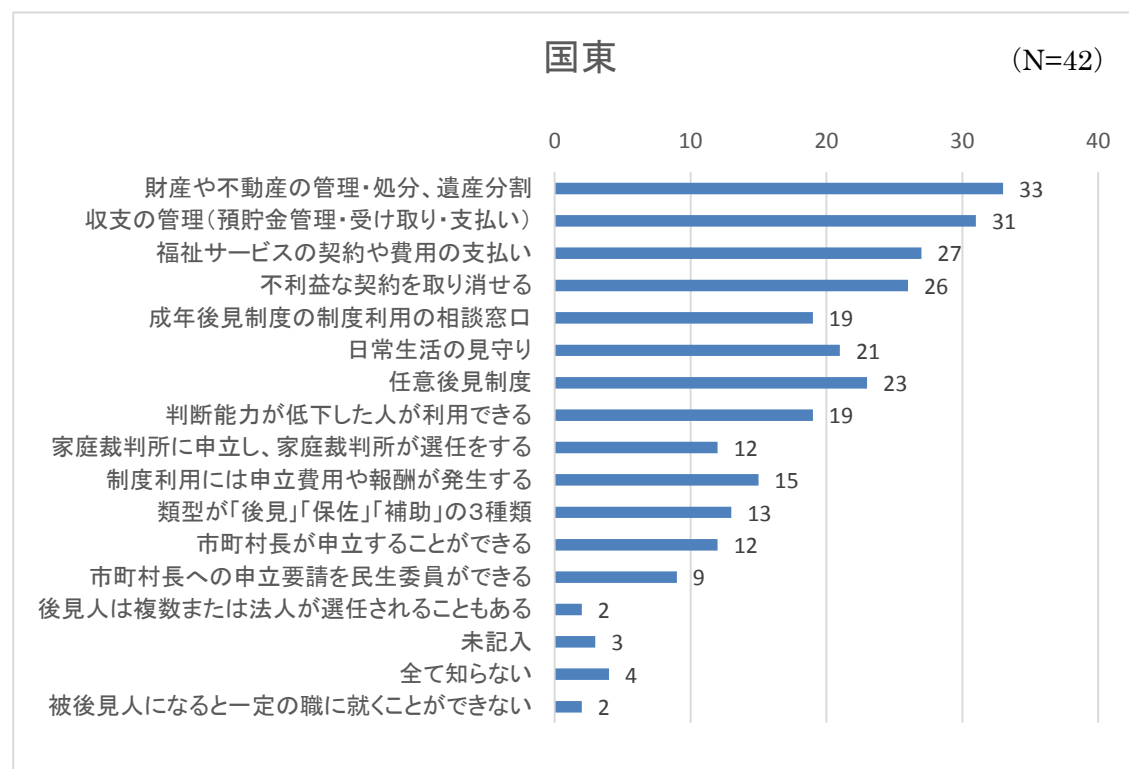
(人)



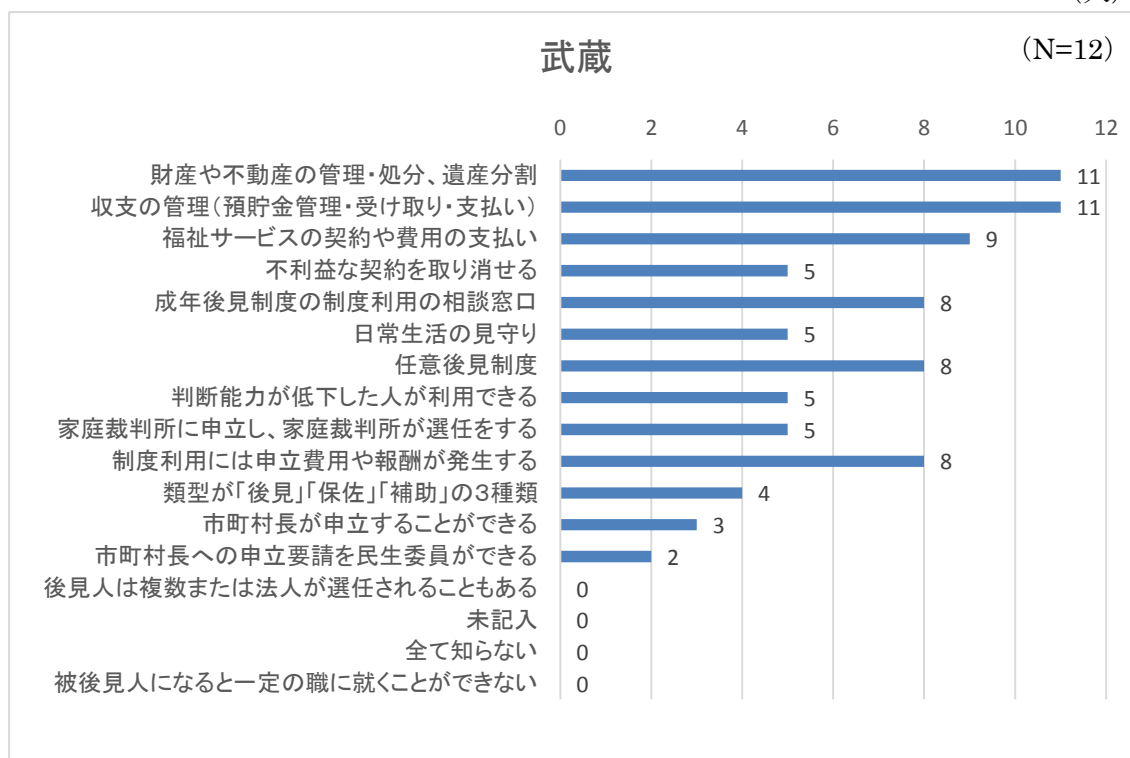
(人)



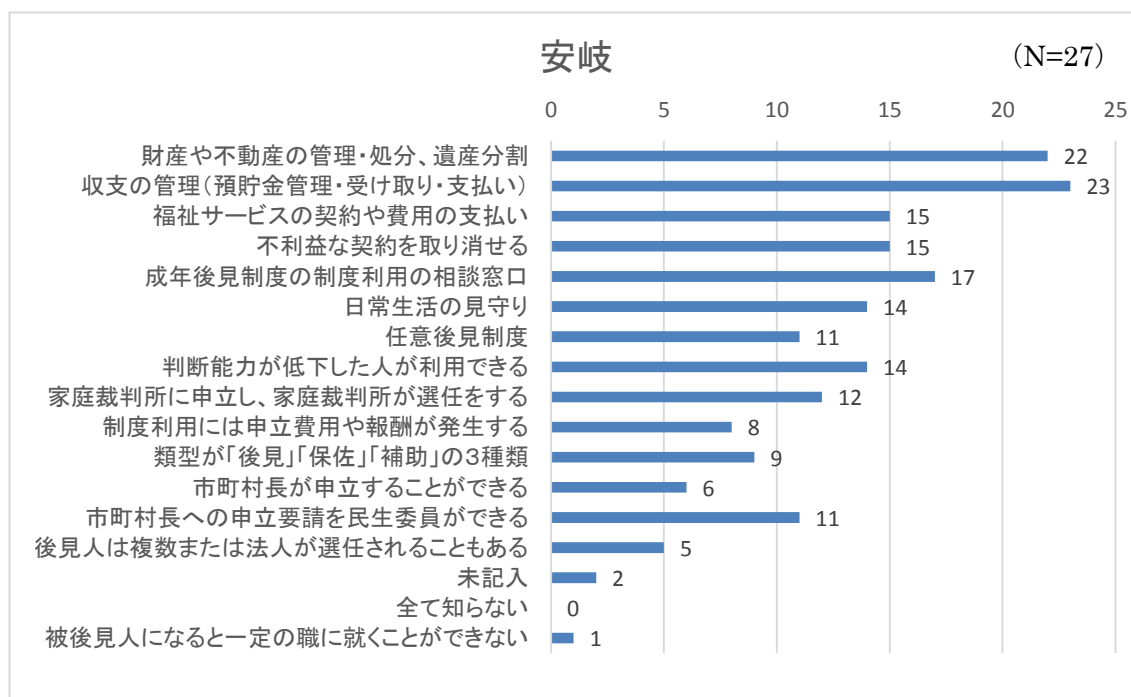
(人)



(人)

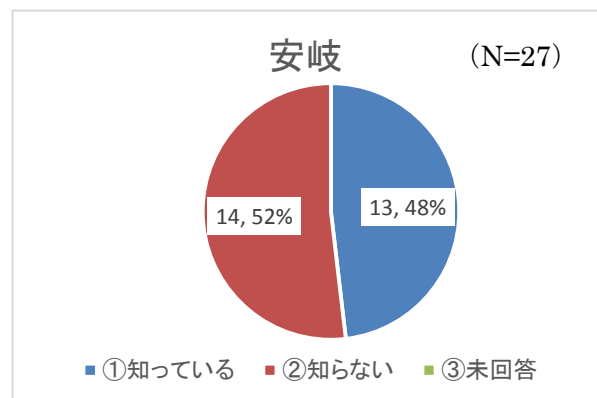
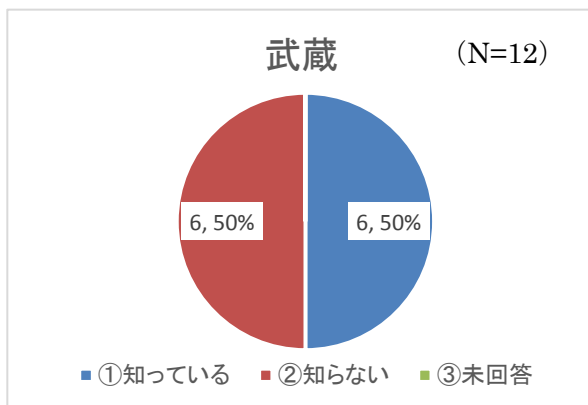
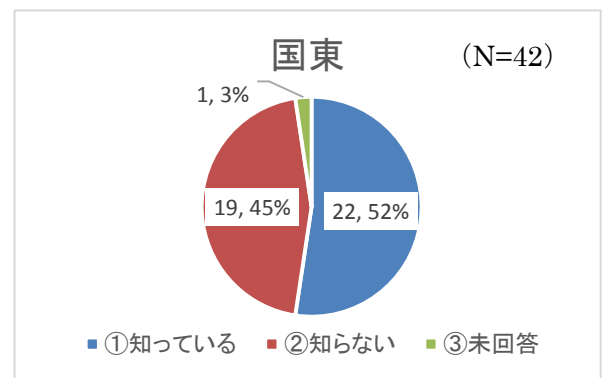
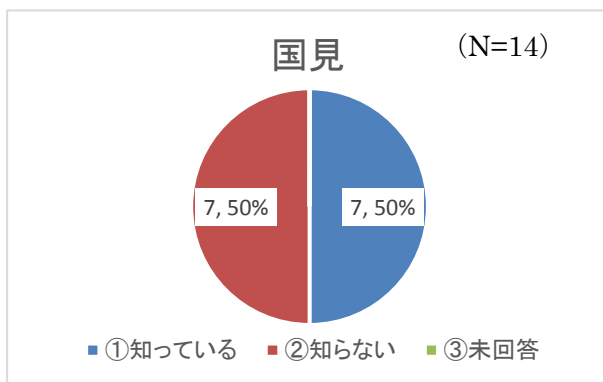
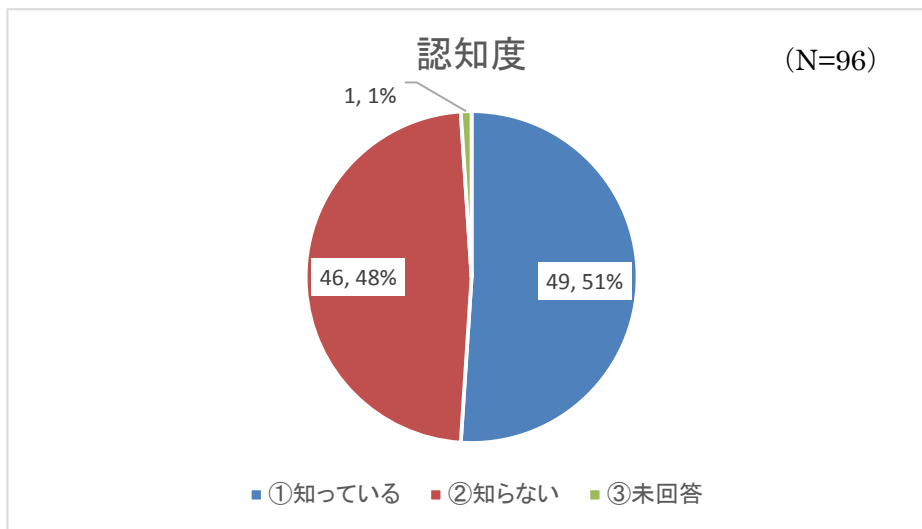


(人)



問 16 成年後見に関する相談及び成年後見制度等の利用を必要とする方を支援するために、平成 31 年 4 月に「くにさき半島地域成年後見支援センター」を、豊後高田市・国東市・姫島村の 2 市 1 村で設置しました。
「くにさき半島地域成年後見支援センター」を知っていますか

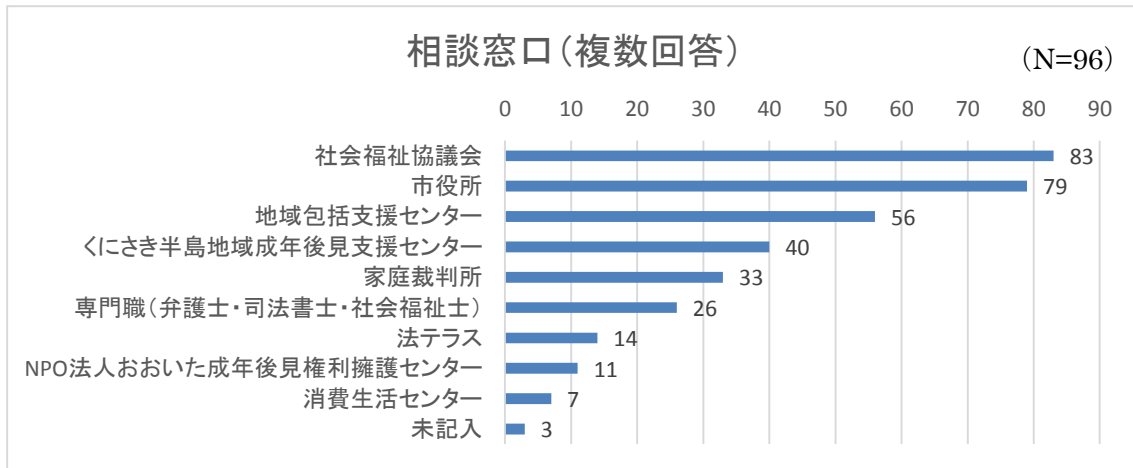
知っている人が半数程度しかない。



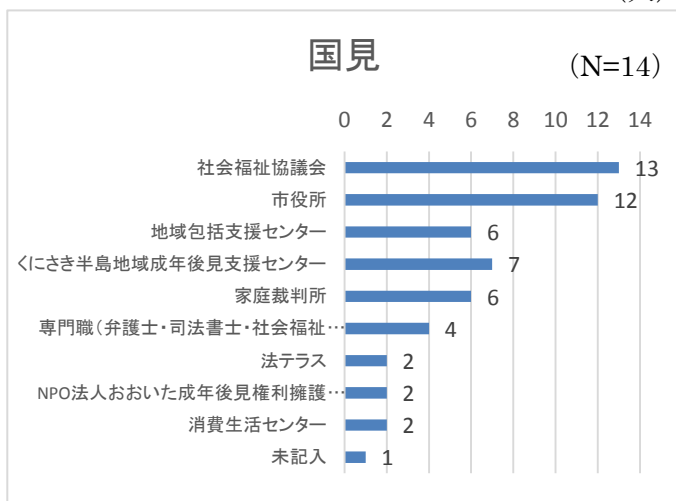
問 17 成年後見制度の相談窓口は下記のとおりです。知っている窓口すべてに○をつけてください。

身近な社会福祉協議会や市役所、地域包括支援センターが相談窓口という認識がある。

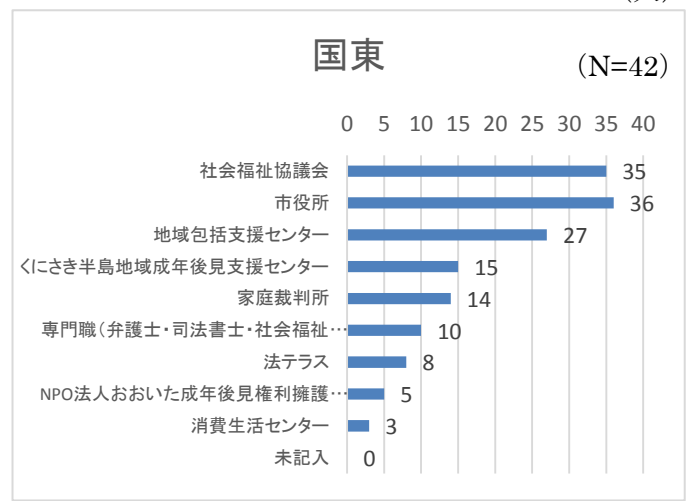
(人)



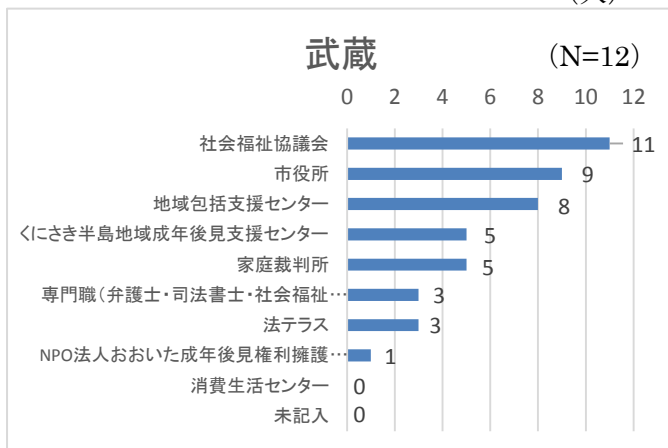
(人)



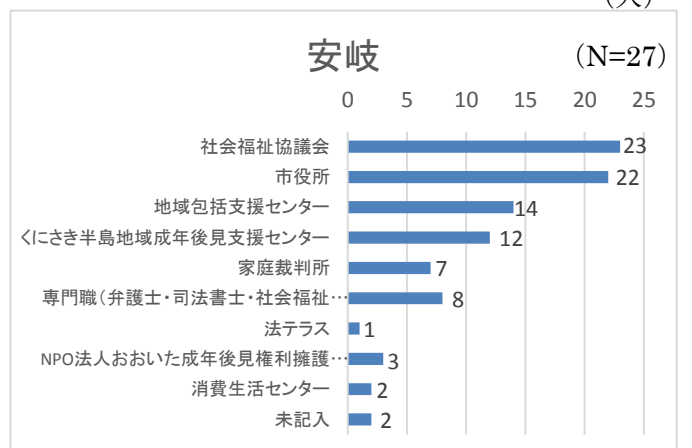
(人)



(人)



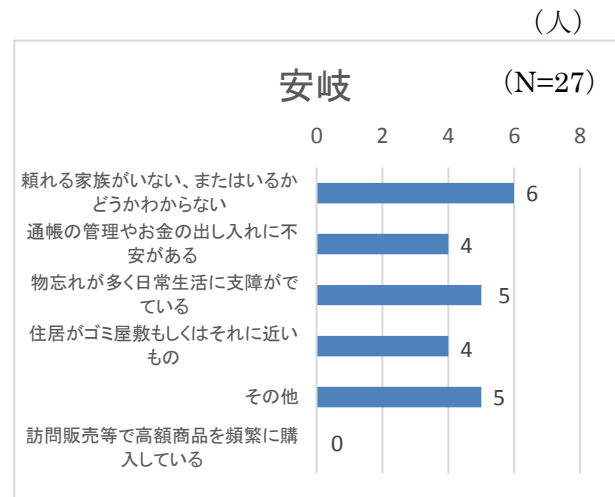
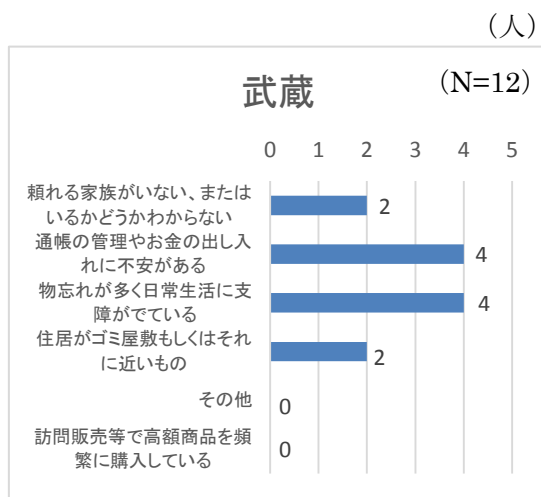
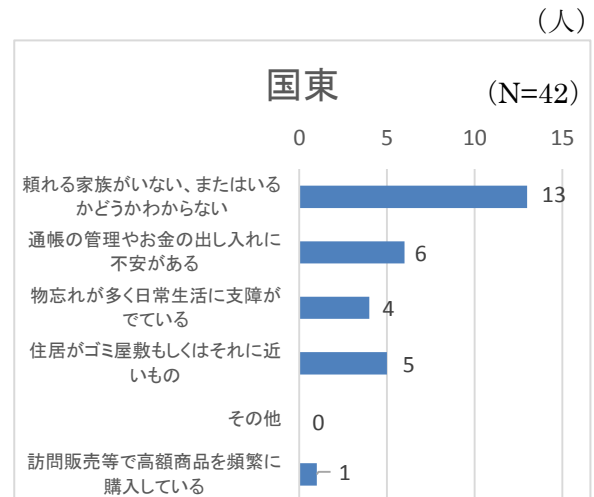
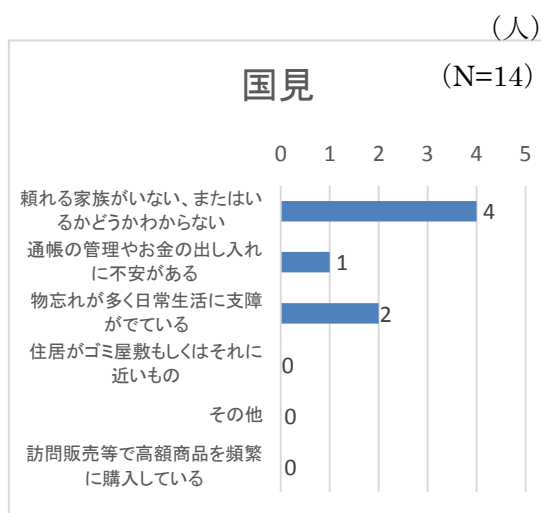
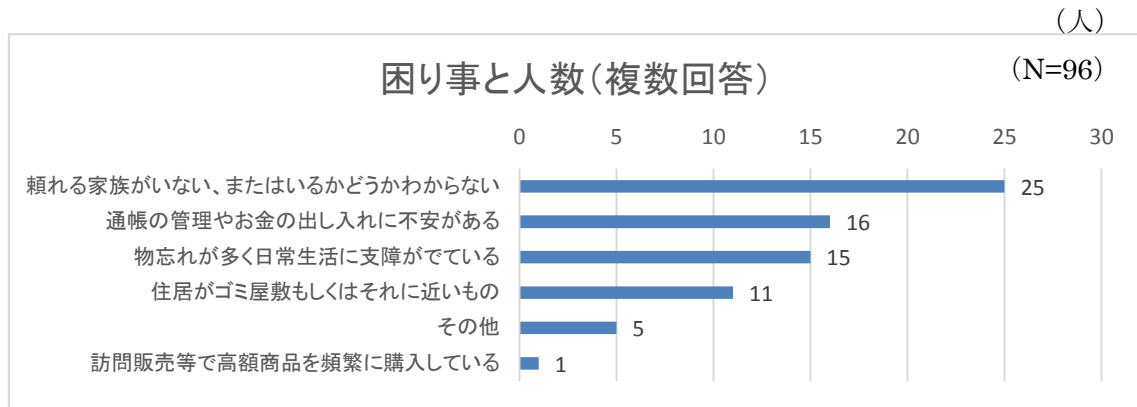
(人)



問 18 現在、担当地域の中で、以下のような困り事があるため、成年後見制度を利用したほうが良いと思われる方が何人程度いますか。

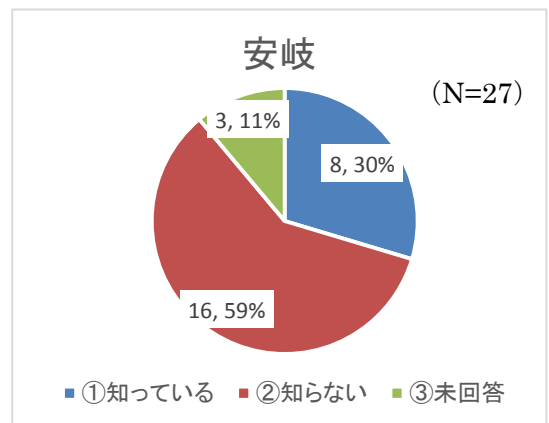
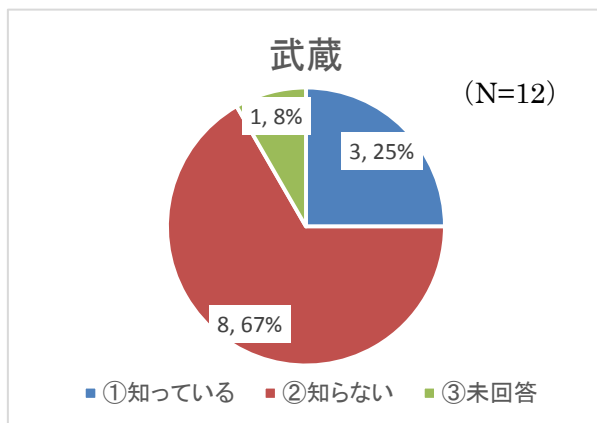
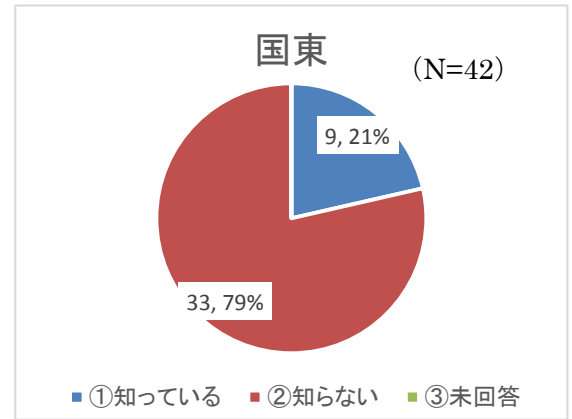
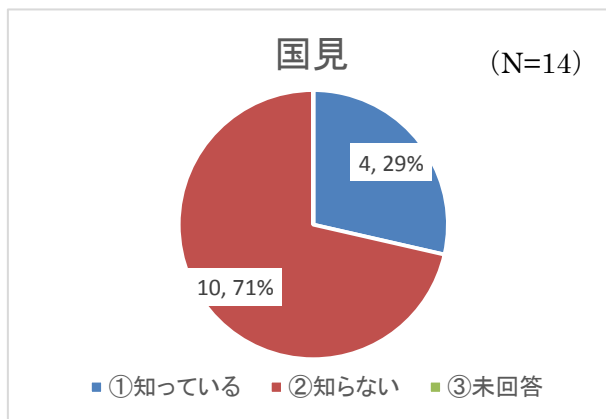
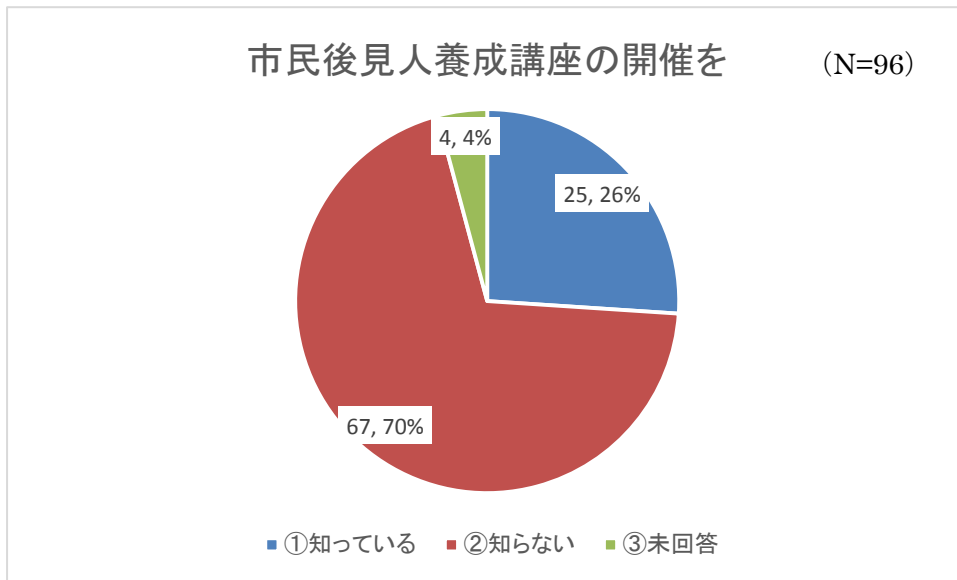
いざという時に、相談できる家族がいない、もしくは家族の有無が不明な方が地域にいることに、不安を感じている民生委員が多い。

物忘れの出現で、金銭管理や日常生活に支障がでてきている人が、地域で認識されている。



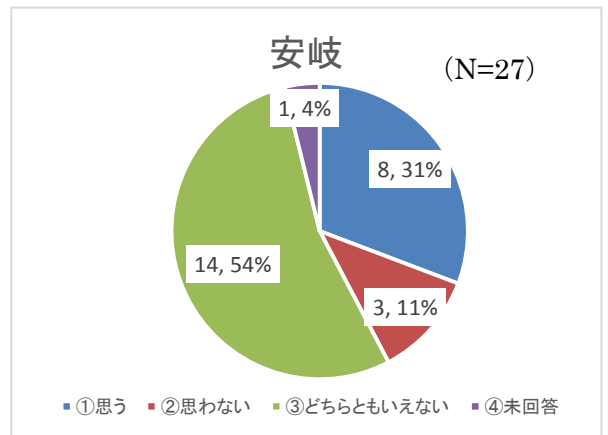
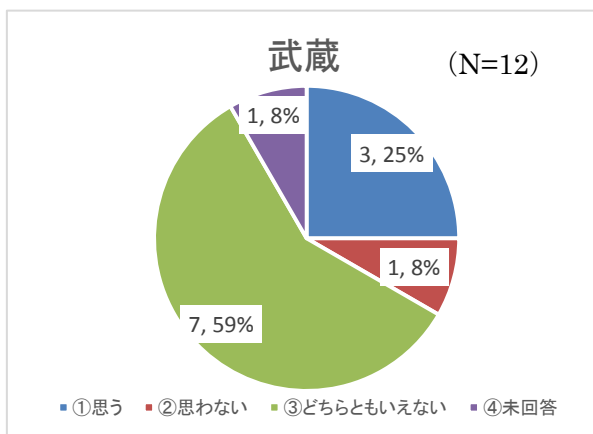
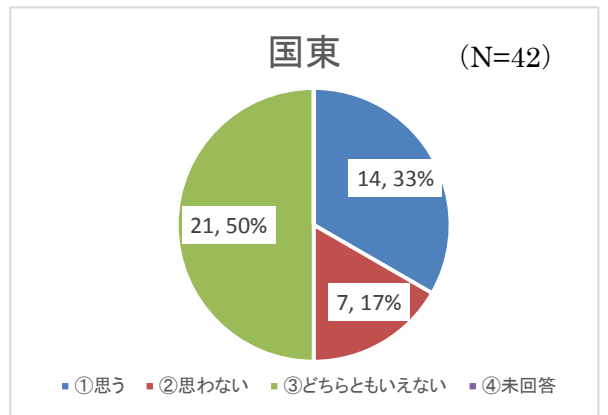
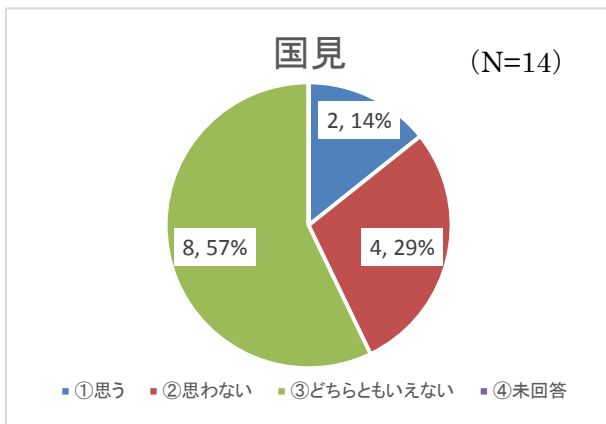
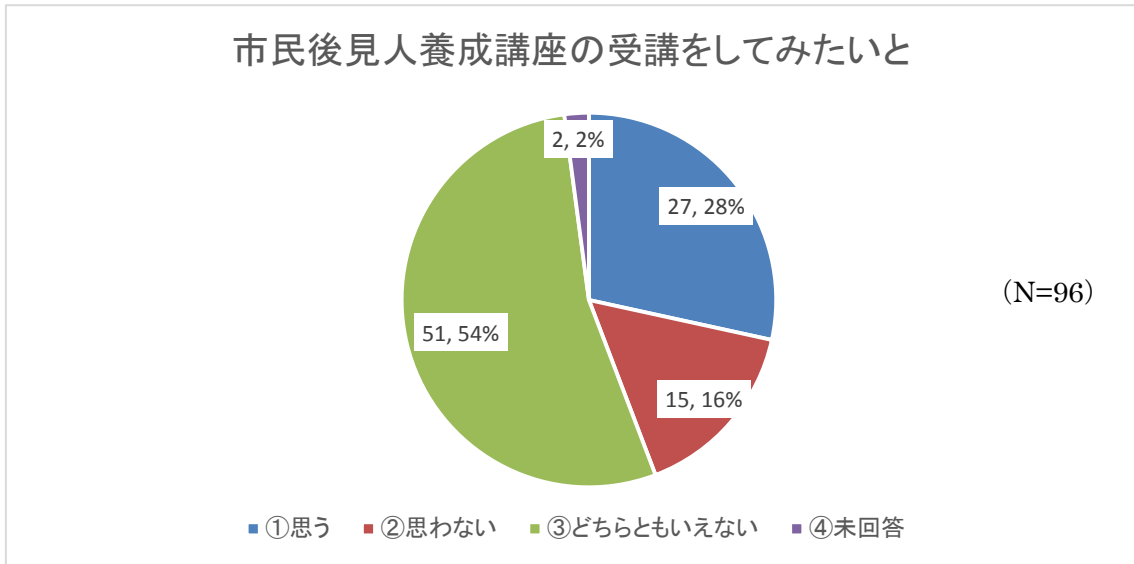
問 19 成年後見制度を利用するにあたり、意思決定が困難な人の権利を尊重し、地域で安心して暮らせるよう人材育成を目的として、くにさき半島地域成年後見支援センターが、現在市民後見人養成講座を開講していることを知っていますか

認知度が4分の1程度と、非常に低くなっている。



問 20 今までの民生委員・児童委員の経験を、今後の地域での活動に活かす方法として、市民後見人やその補助での活動をするために、このような養成講座があれば受講をしてみたいと思いますか

受講したいと考える人は、約3分の1程度である。



4. 民生委員・児童委員の活動を通じての意見、要望、課題

問 21. 今までの民生委員・児童委員の活動を通じて、率直なご意見やご要望、課題などがあればお聞かせください。

意見

- ・多くの人が民生委員を頼りにしているとは言えないが、見守りなど回数を重ね、こちらからいろいろ聞いてみると相談事は沢山出てくる。
- ・熊毛地区は、地域支え合いの会が発足し、高齢者の寄り合い場として活動に頑張っている。閉じこもりの人も、カフェやレクや食事会に出て来る人が少しずつ増えている。この活動にこんごも民生委員・児童委員が関わっていけば通常の見守りなどの活動に役立つと思う。
- ・個人情報の壁が厚く病院から各自治体機関との連携ができていないと感じました。それから活動の範囲が多岐に渡っていて生活上の事から福祉、防犯、災害に対する支援等、情報発進から啓発まで大変でした。その中で感じた事は、訪問聞き取り調査では人それぞれの本心特に病気とか認知症とか人の悪い弱い所は聞き出せなかったと思っています。
- ・私の担当の方々は（10人）皆さん元気だったので、これと言って何もなかったのですが、これからはその方々も年々年を重ねて行く上で色々問題も出てくるんじゃないかなとは思っています。
- ・少々、認知の入りつつある方もあるようなので、その点がやはり心配をしている所です。
- ・民生委員の活動の他いろんなサロン活動などを通して人と人との結びつきが出てきて3年間楽しく活動してきました。これからも頑張っていきたいと思います。
- ・民生委員は、困った人がいればそれぞれの機関との“つなぎ役”だと考えている。
- ・若い頃から「じだらくな生活」をしてきた人が年老いたり病気になったりしたとき、貯金もなく頼るところもなく、結局行政支援にたよること、まわりの人も「なんであんな人を支援・保護するのか」の声が多い。
- ・高齢者を訪問してみると、草取りとか、野菜作りなど家族の中で自分に任された仕事をしている人ほど元気な人が多いと感じられる。高齢者でもできる仕事があれば「ボケル」ことが少ないのでは。
- ・市役所と社協との連携が見えにくい。

<p style="text-align: center;">意 見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員として活動してみて、いろいろな制度があることを知ることができた。でも一般の人々は、そんな制度があることを知らない人が多いと思うので、知らせることが今後もっと大事になってくると思う ・民生委員さんと区長・役員さんとの連携・協力が必要である。一緒に家庭訪問する機会があってもよい。 ・成年後見人制度も認知症に対する知識もふれあいネットワーク会議も、私共民生委員のみでなく広く区長会、婦人活動等、人の集まるところで啓蒙活動が必要と思います。回覧板やペーパーは意味をなしません。無駄です。 ・私の地区は、1人暮らし、2人でも80歳以上の夫婦、又4～5ヶ月家にこもってしまう人、1人暮らしでも90歳を過ぎた人、色々は方がいます。油断のできない日々でした。これから先もまだまだ多くなると予想されます。民生委員だけの力ではなく地域でみまもりが必要とされます。 ・今の時代にあわせた仕組の見直しが必要と思う。 ・地区内の1人暮らしの高齢者が突然いなくなり大さわざしました。市長さんより民生員にだけは転出の件は伝えるべきだったと担当者には注意していただけたが、民生委員と市役所は信頼しあって、地域住民を見守るべきと考えます。 ・また、認知症の方がたおれたりして、警察や病院に搬送された事もあり、私も市外に出ておりかけつける事が出来なかったので、包括支援センターの方に引取りをお願いする事になったようです。警察、病院、市役所は横の繋がりをとった方が良いと感じました。色々な事を勉強させていただいた3年間でした。今後はふれあいネットワークを確立する為に動くつもりです。ありがとうございました。
<p style="text-align: center;">要 望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク会議で話し合う事で見守り等支援が必要な人や気にかかる人を構成員の皆さんで問題解決に向けた話しができています。取り組みができていない行政区に行政として推進をお願いしたい。 ・1度だけ、支援センターとの意見交換がありましたが、数回続けて頂きたかったです。(定例会では小さな問題提起は、なかなか…) ・地区の出身でない為、独居者の詳細がわからず、きちんとした訪問をしたい為、市役所の担当窓口にご相談したが個人情報を守る為、教えることはできないと断られた。今までの民生委員の方々に相談しながら何とか対応を続けた、地区の独居者の氏名、生活保護者等を教えていただけたら、もっとスムーズな対応を続けられたのと思う。

<p>要 望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について常に不安を抱いている。台風などで避難指示が出た場合に弱者に対してどの様に対応すればよいのかマニュアル等出来てないのではと…。近所の方を考えても我が身以外に他の人までと思うのが常。民生委員の立場としても心配はとてするが行動迄には近くでないと思える。出来かねると思う。日頃より実務が伴う意識とマニュアルを作っては。 ・高齢者（包括）、障がい者（福祉課）等のしぼりなく誰もが集える場作りを早急に市の事業としてやってほしい。 ・武蔵古市～丸小野の交通手段は是非必要である。子育て世代でも、車を利用できない場合や、可能性もあるので、病気や生活支援のために、是非なくさないでほしいと思った。 ・まだまだ、私たちには伝わっていないことがたくさんあります。定例会での是非情報提供をお願いします。
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化が進み高齢者世帯、1人暮らし世帯が多くなっている。家族が近くに住んでいない1人暮らし世帯については、住み慣れた所に住み続けるには地域の力（見守りなど）が必要ですし、年々不便に交通手段にしても課題の一つになると思います。民生・児童委員の後継者不足も悩みです。 ・地域で独り暮らしをしている人が、家族との交流がなくて子や兄弟などから孤立しており、相談や本人のことをどの様に思っているのか理解が出来ない。対応が金銭的なことがあり、どの様に進めるかがとても困難なことが多い。 ・高齢化が一層進み、一人暮らしの方が多くなっている。買い物支援や日常生活、環境整備等のボランティアの立ち上げが必要である。市からの援助も必要である。 ・膝が悪いから、すわれない、行けないと身体的理由でサロンへの参加、敬老会等地区の行事になかなか参加してもらえない。訪問すれば話しをしてもらえる。訪問するしかないのかなあ、地区の人達と交流できるようになるには、そのように働きかけをしたらよいのだろうか、誘った時は考えてみるというけれど…。準備したり、着替えたりするのがたいへんとも言う。 ・地域で孤立している人、地域の行事等に参加しない人をどうして地域住民の和の中に入れてもらえばよいか。 ・（一人暮らし）の月1回の訪問、年一回の安全バトンの確認等、人数が多く大変だった。

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに親族が居なく、だんだんと高齢になっていく中、不安を抱えている人も何人かいて、こちらも心配になる。 ・1人暮らしの人をたずねると次から次へと話して来てなかなか帰してくれない。本当に淋しいのだと思う。元気な人はサロン等に参加して皆と話せるが足の悪い人はサロンにもなかなかいけない。区の執行部の人々と協力し横のつながりが有ると良い。 ・独り暮らしの方でも年齢の若い方はサロンや元気アップなどに参加し人との交流がありますが、高齢の方でデイサービス等利用していない方はほとんど人との交流がなく過ごしている場合があり気にかかる場所です。 ・個人情報があり思うように対応できない事があります。 ・家族がいない人で現在1人暮らしをしています。連絡先がなく入院の場合等民生委員が対応しています。 ・3年間民生委員、児童委員として活動しましたが、救急車が来たら一番心配でした。又、最近台風、大雨等の時、高齢者たちが心配になりTEL等をしたり出掛けて安心させる事もありました。 ・区に加入していないマンション・アパート etc の住人の中に支援すべき方がいたのではと気になりながら情報の手がかりがなく観過してしまいました。 ・訪問活動をしている中で少しずつ関係づくりを進めている時、どこまで支援すべきか考える時がある。 ・私の担当する地区にはワンルームのアパートがたくさんありほとんどが区に加入していない。世帯数372世帯、区に加入205世帯、区に加入していなければ市からのお知らせなど届かない。家賃が安いからといって若い元気な人だけでなく病弱な人や収入の低い人がいるようである。情報がその方にもとどくような方法が求められると思う。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の役割や立場を市民に正しく理解してほしい。(周知を行政でも努めてほしい) ・地区民の困り事に気づき、相談にのったり、関係機関への取りつき等が任務だと考えているが、一部の住民が高額の手当て金をもらっているのだから、地区の全部の行事に参加すべきだと考えている。(盆踊り、有志のサロン主催の行事にも、体調不良で参加できないと非難される) ・民生委員は表に出て動く名誉職ではないので、葬儀の焼香や老人クラブの来賓あいさつは、おかしいと感じます。(一般人として会葬はします) 民生委員は社協の代理で出席するのですか？

その他	<ul style="list-style-type: none">・定例会は協議内容、目的に沿って話し合い端的に進めてほしい。会議の開催時刻と閉会時刻を示して、会員の資質向上のための定例会であってほしい。・吉木区、新栄区は1人暮らしの方も多、中学下からと1～7班、新栄と範囲が広いので詳細が把握できなかった。出来れば委員が2人にして頂きたいと思います。・活動の最後になって、民生委員の訪問活動が迷惑だと思われる様な発言が担当地区の区長さんからあり、少なからずショックを受けた。・地域住民が民生委員をあまり利用していない。又、相談活用にこない。・民生委員の質の低さ、あらゆる事に対して勉強会を開きあるていどの知識を持ってほしい。
-----	--